

令和7年度

宇都宮市

学習内容定着度調査
学習と生活についてのアンケート

実施結果報告書

令和8年3月

宇都宮市教育委員会

令和7年度
宇都宮市
学習内容定着度調査
学習と生活についてのアンケート
実施結果報告書

<目次>

はじめに	2
1. 調査の概要	3
(1) 学習内容定着度調査	3
(2) 学習と生活についてのアンケート	5
[学習内容定着度調査 実施結果報告]	
2. 「学習内容定着度調査」結果の状況	8
(1) 各学年の結果概要	8
(2) 小学校第6学年結果分析	10
(3) 中学校第3学年結果分析	18
(4) 指導の工夫・改善	28
[学習と生活についてのアンケート 実施結果報告]	
3. 「学習と生活についてのアンケート」結果の状況	38
(1) 設問別肯定的回答率一覧	38
(2) 設問のカテゴリー別に見られる傾向	44
[正答率とアンケート結果の一体的分析 結果報告]	
4. 正答率と相関のある指導の分析	64
(1) 小学校第6学年結果分析	64
(2) 中学校第3学年結果分析	67
(3) 考察及び指導の工夫・改善策	70
5. 国, 県, 市の学力調査における本市児童生徒の学力の状況 ..	72

はじめに

「学習内容定着度調査」は、本市の児童生徒の学習内容の定着度を的確に把握し、学校における学習指導の工夫・改善を図るため、平成15年度に開始し、今年度で23年目となる。

開始から平成19年度までの5年間においては、小3～小6の国語と算数、中1～中3の国語、数学、英語について、基礎的・基本的な学習内容を中心に、原則として同一問題による調査を実施し、当該年度における領域別、観点別、設問別の正答率による分析と前年度の正答率との比較による分析を行うことで学習内容の定着状況を明らかにし、指導の工夫・改善を図ってきた。

平成20～23年度の4年間においては、児童生徒に調査問題を返却することで調査問題を使った見直しや復習を行うことができるようにし、児童生徒一人一人の学習内容の一層の定着を図るため、年度により調査問題を変更するとともに前年度の正答率との比較を行わないこととして調査を実施してきた。

平成24・25年度においては、学習指導要領の改訂や小中一貫教育の全市実施を踏まえて、思考力・判断力・表現力等の定着状況を把握するための活用問題や、小5～中3の5学年に社会と理科を加えて実施したことで、総合的な学力について多面的、多角的に把握できるようにした。

平成26年度からは、栃木県教育委員会による学力調査が実施されたことを踏まえて対象学年を小6と中3の2学年に精選し、それぞれ出題範囲を広げて調査を実施することで、小・中学校のまとめとしての学力の状況を把握できるようにした。

今後とも、基礎・活用別、領域別、観点別、設問別の正答率による分析をもとに指導改善の方策を見だし、市や各学校の実態に応じた指導の一層の充実を図れるよう努める。

「学習と生活についてのアンケート」については、教科学力の背景にある学習や生活の状況についての実態を把握するため、平成18年度に開始し、今年度で20年目となる。

小1～中3の児童生徒について、学習に対する意欲や学校や家庭での取組、生活状況等についての調査を実施し、学校教育推進計画との関連などの視点から、学年間、年度間の肯定的回答の割合の比較をもとにした分析を行ってきた。また、本調査結果と「学習内容定着度調査」の結果を併せて分析することで、学習に対する意識や行動と学習内容の定着状況との関連を明らかにし、学力向上に向けた指導の工夫・改善を図ってきた。

今後とも、肯定的回答の割合による分析等を行いながら児童生徒の発達の段階による特徴を明らかにするとともに、「学習内容定着度調査」の正答率等との相関及び考察を通して学力向上を図るための取組を見だし、小・中学校が連携した児童生徒の育成に向けて活用できるよう努める。

1. 調査の概要

(1) 学習内容定着度調査

1) 目的

- ① 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、基礎的・基本的な内容に併せ、思考力・判断力・表現力等を問う内容について、児童生徒の学習状況を的確に把握し、一人一人に応じた指導の充実を図る。
- ② 各学校が市全体の結果を踏まえた上で、自校の結果を分析することにより、自校の課題を明確にするとともに、指導内容の重点化や指導方法の工夫・改善を図る。
- ③ 調査結果をもとに、児童生徒の学習到達度を明確にし、市の教育行政施策に生かす。

2) 調査対象

宇都宮市内の全市立小学校第6学年の児童及び中学校第3学年の生徒

3) 調査内容

① 教科及び調査時間

小学校第6学年：国語・社会・算数・理科（各40分）

中学校第3学年：国語・社会・数学・理科・英語（各45分）

② 出題の基本方針

ア 学習指導要領の目標、内容に照らした学習の実現状況を、教科全体及び基礎・活用別、領域別、観点別に把握できる問題とする。

イ 各教科とも、基礎的・基本的な内容の問題に併せ、思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題する。

ウ 出題の範囲は、小学校第6学年については、原則として小学校第5学年の初めから小学校第6学年の11月までの学習内容、中学校第3学年については、原則として中学校第1学年の初めから中学校第3学年の11月までの学習内容とする。

エ 問題の分量は、児童生徒が調査時間内にすべての問題にひと通り取り組むことができるように留意する。

4) 実施日

令和7年12月10日（水）

5) 実施人数

	全体	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校第6学年	4,156	3,853	3,864	3,854	3,878	—
中学校第3学年	3,819	3,596	3,595	3,600	3,607	3,603
小中学校計	7,975	7,449	7,459	7,454	7,485	3,603

6) 分析の方針

- ① 本調査は学習指導要領の内容について、児童生徒の学習到達度を測るものである。個人あるいは集団の「正答率」により、各学年で求められる学習指導要領の内容の定着度を見ることができる。分析にあたっては、集団における「正答率」を用いることとする。

なお、前年度に引き続き、今年度も調査問題を変更したため、前年度の正答率との比較は行わず、当該年度における基礎・活用別、領域別、観点別の正答率による分析を中心とする。

- ② 設問別分析においては、以下のような観点で行っている。

- ・ 正答率の低い設問（参考値を下回る設問）
- ・ 特定の誤答が集中している設問
- ・ 無解答の多い設問

7) 調査結果の活用

- ① 本市においては、基礎・活用別、領域別、観点別の学習内容の定着度を分析することにより、本市の教育及び事業の成果や課題を把握し、その改善を図る。
- ② 各学校においては、自校の学習内容の定着度を分析・把握することにより、学習指導の工夫・改善を図り、次年度の指導計画や授業等に役立てる。
- ③ 授業や家庭学習などにおいて、年度内に調査問題などを使った復習を行い、各児童生徒の学習内容の確実な定着を図る。

※ データの見方等で注意すべき点について

- ① 「領域別」の表記について

学習指導要領において領域による内容構成を行っていない教科についても、内容のまとまりを「領域別」と統一して表記している。

- ② 正答率について

正答率とは、設問ごとに正答した児童生徒の割合を示しており、記述式問題においては、準正答は0.5ポイントとして算出している。なお、教科全体及び基礎・活用別、領域別、観点別の正答率は、該当する設問の正答率の平均値である。

- ③ 参考値について

参考値とは、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率（1種目あたり標本数約10,000人～58,000人）であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

- ④ 活用問題の正答率度数分布について

正答率度数分布のグラフは正答率10%ごとに児童生徒の割合を示すものである。本調査における今年度の活用問題の設問数は各教科8～11問である。設問数が8問の場合は、正答率40%～50%未満の児童生徒の割合が極端に低くなり、結果の読み取りに注意が必要である。そのため、設問数が8問の場合はその旨を明示する。

(2) 学習と生活についてのアンケート

1) 目的

- ① 児童生徒の学習に対する意欲や取組，生活状況や食事の様子等，学力の背景となる実態を把握する。
- ② 本調査結果と学習内容定着度調査の結果を併せて分析し，児童生徒の意識や行動と学習内容の定着状況との関連を明らかにすることにより，より一層の学力向上を図る。

2) 調査対象

宇都宮市内の全市立小学校及び中学校の児童生徒

3) 調査内容

- ① 質問数及び調査時間
 - ア 質問数
小学校：90 から 140 項目程度（学年に応じて）
中学校：140 項目程度
 - イ 実施時間 40 分
- ② 主な質問内容
 - ア 学校や家庭での学習について
 - イ 毎日の生活について
 - ウ 健康や食事について

4) 実施日

令和7年12月8日（月）～10日（水）のいずれか

5) 実施人数

小学校						
第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小学校計
3,776	3,861	4,099	4,195	4,318	4,151	24,400

中学校			
第1学年	第2学年	第3学年	中学校計
3,736	3,667	3,713	11,116

小中学校計
35,516

6) 分析の方針

- ① 分析にあたっては、集団における「肯定的回答率」を用いることとする。
- ② 学年間や年度間の比較を通して、児童生徒の学習に対する意欲や取組、生活状況の傾向を把握するとともに、学力向上に向けてどのようなことを日常的、継続的に指導していくことが必要であるのかを把握できるようにするため、以下のような観点で分析を行っている。
 - ・ 全学年及び今年度、昨年度の状況 ⇒「設問のカテゴリー別に見られる傾向」として記載
 - ・ 学習内容定着度調査の結果との関連⇒「正答率と関連のある指導の分析」として記載

7) 調査結果の活用

- ① 児童生徒の学習への意識や生活の実態に基づき、学習指導、児童生徒指導、食や健康・体力に関わる指導の充実を図る。
- ② 学習内容の定着状況と関連の高い学習習慣や生活習慣等を把握することにより、これまでの学習指導を見直し、指導の工夫・改善を図るとともに、家庭と連携した学力向上への取組を推進する。
- ③ 本調査の結果を、学校教育推進計画等の達成状況の検証にも活用し、市及び学校における取組の充実・改善を図る。

※ 用語について

- ・ 「肯定的回答率」

各設問に対して、「はい」または「とてもあてはまる」、「まああてはまる」などと回答した児童生徒の割合(%)のことをいう。(本調査においては、小学校1、2年生では、「はい」、「いいえ」の2つの選択肢から、小学校3年生以上では、「とてもあてはまる」、「まああてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」などの4つの選択肢からあてはまるものを回答している。)
- ・ A層、B層、C層、D層

今回の「学習内容定着度調査」結果において、正答率によって児童生徒を25%刻みの層に分け、上位から4分の1をA層、4分の1から2分の1までをB層、2分の1から4分の3までをC層、4分の3以下をD層としている。
- ・ 「A層-D層」

A層(正答率高)とD層(正答率低)の肯定的回答率または平均値の差。各層の児童生徒の学習や生活への意識や取組の傾向を把握し、指導の工夫・改善を図るための参考として活用することが期待できる。

学習内容定着度調査

実施結果報告

2. 「学習内容定着度調査」結果の状況

(1) 各学年の結果概要

小学校第6学年

- 各教科の正答率は、社会、算数、理科が参考値をそれぞれ 2.7 ポイント、0.5 ポイント、1.5 ポイント上回っており、国語が 0.7 ポイント下回っている。
- 基礎・活用別に正答率を参考値と比較すると、基礎問題は、社会、理科が参考値をそれぞれ 2.3 ポイント、1.8 ポイント上回っており、国語、算数がそれぞれ 0.8 ポイント、0.5 ポイント下回っている。
活用問題は、社会、算数、理科が参考値をそれぞれ 3.7 ポイント、3.3 ポイント、0.6 ポイント上回っており、国語が 0.6 ポイント下回っている。
社会、理科は、基礎問題、活用問題ともに参考値を上回っている。

1) 正答率

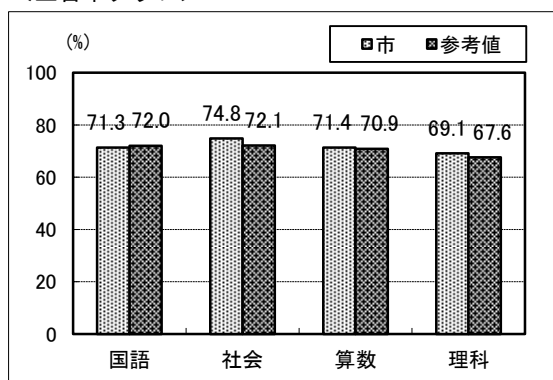
(%)

	国語	社会	算数	理科
宇都宮市	71.3	74.8	71.4	69.1
参考値	72.0	72.1	70.9	67.6

※参考値について：

他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

<正答率グラフ>

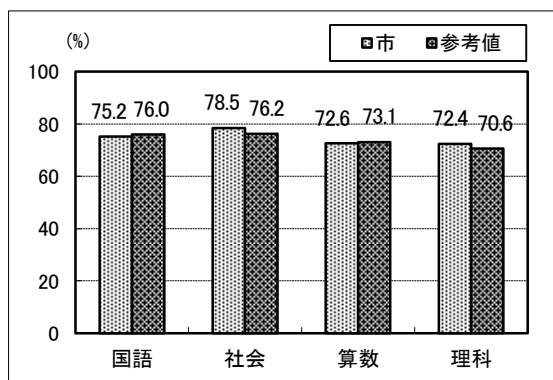


2) 基礎 / 活用別正答率

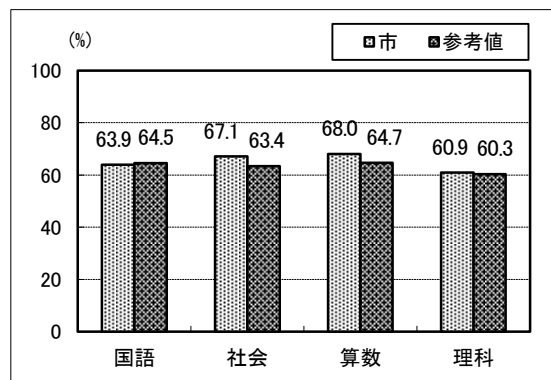
(%)

	国語		社会		算数		理科	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
宇都宮市	75.2	63.9	78.5	67.1	72.6	68.0	72.4	60.9
参考値	76.0	64.5	76.2	63.4	73.1	64.7	70.6	60.3

<基礎グラフ>



<活用グラフ>



中学校第3学年

- 各教科の正答率は、すべての教科で参考値を 6.1～8.6 ポイント上回っており、数学が最も大きく上回っている。
- 基礎・活用別に正答率を参考値と比較すると、基礎問題は、すべての教科で参考値を 4.3～6.6 ポイント上回っており、国語が最も大きく上回っている。
 活用問題は、すべての教科で参考値を 7.9～16.9 ポイント上回っており、数学が最も大きく上回っている。
 すべての教科で、基礎問題、活用問題ともに参考値を上回っている。

1) 正答率

(%)

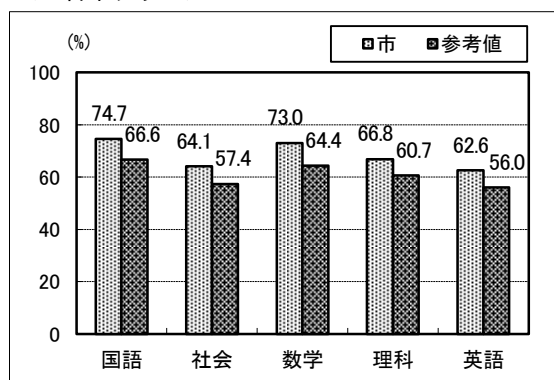
	国語	社会	数学	理科	英語
宇都宮市	74.7	64.1	73.0	66.8	62.6
参考値	66.6	57.4	64.4	60.7	56.0

※参考値について：

他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

なお、社会については、出題した設問の中に本市独自の設問もあり、「参考値」がすべての設問に対応した値ではない。

<正答率グラフ>

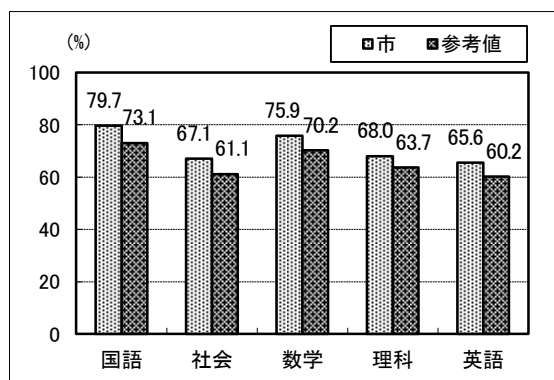


2) 基礎 / 活用別正答率

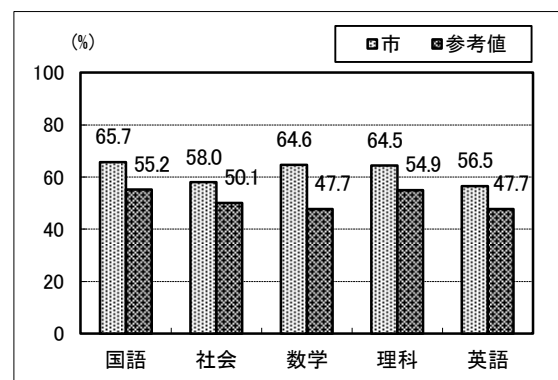
(%)

	国語		社会		数学		理科		英語	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
宇都宮市	79.7	65.7	67.1	58.0	75.9	64.6	68.0	64.5	65.6	56.5
参考値	73.1	55.2	61.1	50.1	70.2	47.7	63.7	54.9	60.2	47.7

<基礎グラフ>



<活用グラフ>



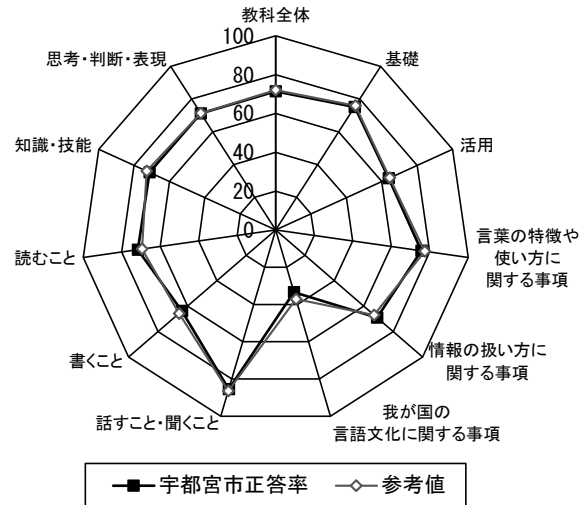
(2) 小学校第6学年結果分析

1) 小学校第6学年 国語

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	71.3	72.0
活用別		
基礎	75.2	76.0
活用	63.9	64.5
領域別		
言葉の特徴や使いに関する事項	75.8	77.5
情報の扱いに関する事項	69.1	67.0
我が国の言語文化に関する事項	33.5	37.2
話すこと・聞くこと	85.5	86.5
書くこと	63.9	65.8
読むこと	71.6	69.5
観点別		
知識・技能	71.3	72.9
思考・判断・表現	71.3	71.4

実施人数 3,853人



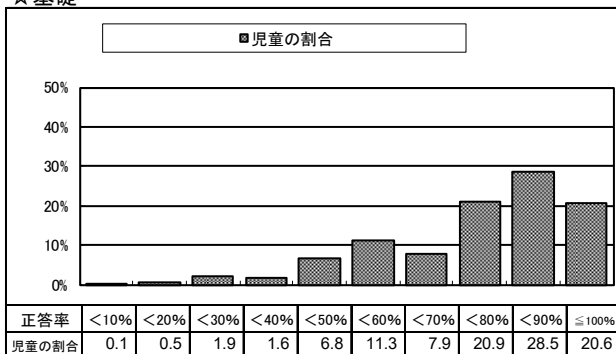
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

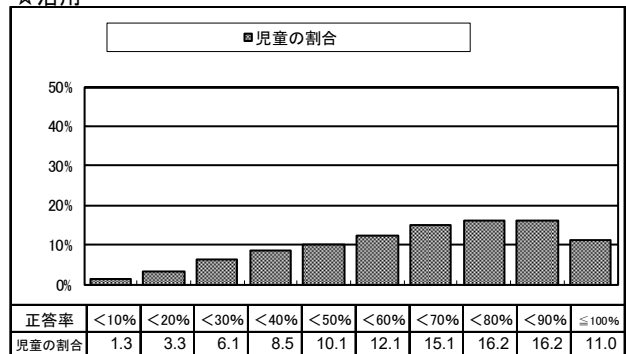
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は0.8ポイント、活用問題は0.6ポイント下回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、上回っている領域は、「情報の扱いに関する事項」(+2.1ポイント)、「読むこと」(+2.1ポイント)。下回っている領域は、「我が国の言語文化に関する事項」(-3.7ポイント)、「書くこと」(-1.9ポイント)、「言葉の特徴や使いに関する事項」(-1.7ポイント)、「話すこと・聞くこと」(-1.0ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は1.6ポイント、「思考・判断・表現」は0.1ポイント下回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている児童の割合は49.1%、正答率が50%未満の児童の割合は10.9%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている児童の割合は70.6%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成								宇都宮市正答率	参考値
大問	中間	小問			基礎・活用	領域					観点			
						方 言 に 関 する 事 項 の 特 徴 や 使 い	情 報 の 扱 い 方 に 関 する 事 項	我 が 国 の 言 語 文 化	と 話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	知 識 ・ 技 能		
1	(1)		選択	話の内容を捉えている。	基礎				☆			◎	97.2	98.0
	(2)		選択	意図に応じて、質問を工夫している。	基礎				☆			◎	89.3	89.3
	(3)		記述	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。	活用				☆			◎	69.8	72.0
2	(1)	①	短答	第6学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	基礎	☆						◎	99.6	99.5
		②	短答		基礎	☆						◎	77.0	73.4
		③	短答		基礎	☆						◎	99.0	98.8
	(2)	①	短答	第5学年に配当されている漢字を正しく書いている。	基礎	☆						◎	73.8	84.0
		②	短答		基礎	☆						◎	71.5	71.5
		③	短答		基礎	☆						◎	77.6	87.8
3	(1)		選択	三字の熟語の成り立ちについて理解している。	基礎	☆						◎	67.2	62.7
	(2)		選択	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	基礎		☆					◎	69.1	67.0
	(3)		選択	語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している。	基礎			☆				◎	33.5	37.2
	(4)		短答	文と文との接続の関係を理解している。	活用	☆						◎	43.2	47.3
	(5)		選択	敬語について理解し、正しく使っている。	活用	☆						◎	73.1	72.4
4	(1)		選択	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	基礎						☆	◎	77.0	69.1
	(2)		選択	登場人物の様子について、描写を基に捉えている。	基礎						☆	◎	83.6	83.0
	(3)		選択	物語の全体像を具体的に想像している。	活用						☆	◎	80.0	78.5
5	(1)		選択	叙述を基に文章の内容を捉えている。	基礎						☆	◎	50.6	48.0
	(2)		選択	文章全体の構成を捉えている。	基礎						☆	◎	76.9	76.6
	(3)		記述	目的に応じて、文章の情報を整理している。	活用						☆	◎	61.7	61.6
6	(1)		選択	目的や意図に応じて、書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	活用					☆		◎	64.1	62.0
	(2)		記述	目的に応じて、文章を簡単に書いている。	活用					☆		◎	47.6	48.8
7			記述	目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。	基礎					☆		◎	69.8	73.6
			記述	文章全体の構成や展開を考えている。	基礎					☆		◎	65.8	72.0
			記述	自分の意見とその理由を明確にして書いている。	活用					☆		◎	84.6	84.7
			記述	予想される反論とそれに対する意見を書いている。	活用					☆		◎	51.2	53.5

◆設問別分析

・大問3(3)「語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している」：正答率 33.5%

和語、漢語、外来語の組み合わせになっている選択肢を選ぶ問題である。正答率は全設問中で最も低く、参考値を 3.7 ポイント下回った。誤答の選択肢④が 42.7%と、正答の割合を上回った。また、誤答の選択肢③が 20.9%見られた。辞書で調べる活動を取り入れ、語句の由来に関心をもち、言葉について深く理解したり、言葉の知識を広げたりすることができるように指導することが大切である。

・大問6(2)「目的に応じて、文章を簡単に書く」：正答率 47.6%

【図書だよりの下書き】の空欄に入る文を、〈注意する点〉にしたがって書く問題である。正答率は参考値を 1.2 ポイント下回った。無解答率は 7.4%であった。【利用者の話】と【司書の話】のうち、どちらかの内容のみ正しく書いている誤答が 30.3%見られた。複数のテキストを類比したり対比したりしながら情報を精査し、整理する力や、複数のテキストから目的に応じて必要となる情報を精選し、情報と情報とを結び付けて書く力を身に付けさせることが大切である。

・大問7「文章を書く」(予想される反論とそれに対する意見を書く)：正答率 51.2%

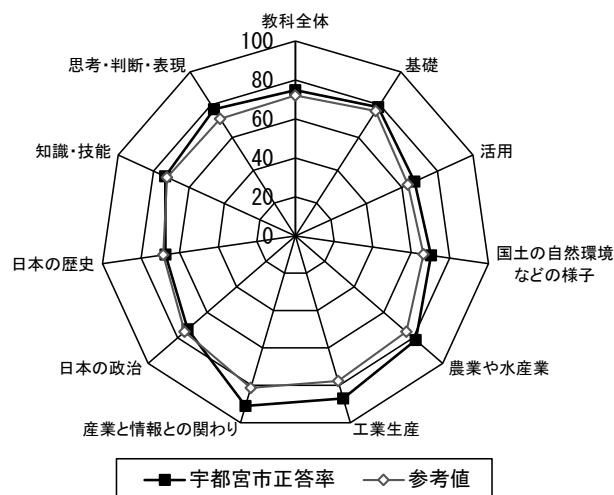
「予想される反論と、それに対するあなたの考えを具体的に書く」という条件に対する正答率は、参考値を 2.3 ポイント下回った。無解答率は 8.9%であった。予想される反論を書いているが、それに対する自分の考えを具体的に書いていない誤答が 3.9%見られた。反論に対する自分の考えを挙げることは、意見に説得力をもたせるために欠かせない。自分の意見やその理由に加え、予想される反論と反論への対応をメモに書き出し、文章全体の構成や展開を考える活動に取り組みさせることが大切である。その際、児童の関心が高く、複数の考えが想定できるテーマを提示し、書いた文章をもとに交流する活動や推論する活動を設定するなど、単元計画を工夫することが有効である。

2) 小学校第6学年 社会

【カテゴリー別正答率】 (%)

		宇都宮市 正答率	参考値
教科全体		74.8	72.1
活用別・ 基礎別	基礎	78.5	76.2
	活用	67.1	63.4
領域別	国土の自然環境などの様子	70.3	66.4
	農業や水産業	81.6	75.3
	工業生産	87.0	77.7
	産業と情報との関わり	91.0	81.3
	日本の政治	73.2	75.3
	日本の歴史	67.4	68.5
	観 点 別	知識・技能	73.5
	思考・判断・表現	77.3	71.5

実施人数 3,864人



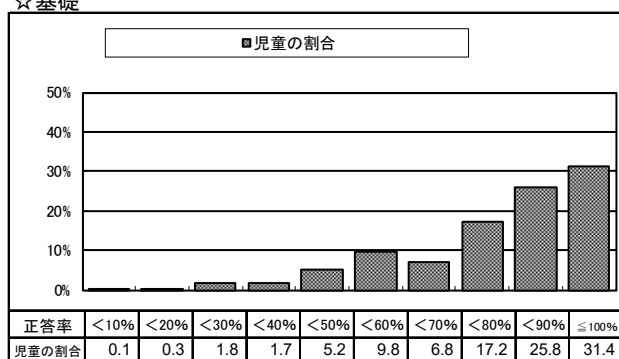
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

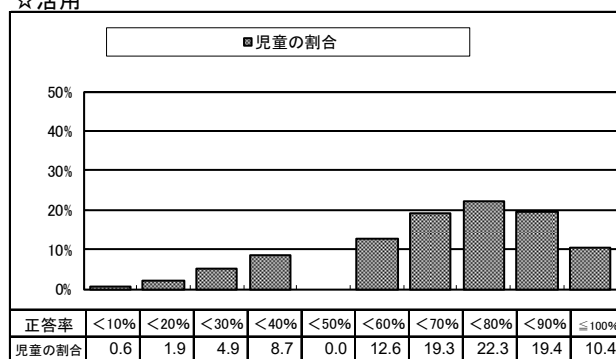
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は2.3ポイント、活用問題は3.7ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、上回っている領域は、「産業と情報との関わり」(+9.7ポイント)、「工業生産」(+9.3ポイント)、「農業や水産業」(+6.3ポイント)、「国土の自然環境などの様子」(+3.9ポイント)。下回っている領域は、「日本の政治」(-2.1ポイント)、「日本の歴史」(-1.1ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は1.0ポイント、「思考・判断・表現」は5.8ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



※活用は設問数が8問と少ないため、正答率40%～50%未満の児童の割合が低くなっている。

◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている児童の割合は57.2%、正答率が50%未満の児童の割合は9.1%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている児童の割合は84.0%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成								宇都宮市正答率	参考値	
大問	中間	小問			基礎・活用	領域					観点				
						どの様子の自然環境な	農業や水産業	工業生産	わたり産業と情報との関	日本の政治	日本の歴史	知識・技能			思考・判断・表現
1	(1)	選択	日本の周辺の海洋名について理解している。	基礎	☆							◎		84.7	86.1
	(2)	短答	赤道について理解している。	基礎	☆							◎		67.8	61.8
	(3)	選択	季節風について理解している。	活用	☆							◎		58.5	58.1
2	(1)	選択	米の生産が盛んな地域について、地図を読み取っている。	基礎		☆						◎		83.7	78.4
	(2)	記述	米の品種改良についての理解をもとに、資料を読み取り表現している。	活用		☆						◎		66.3	55.4
	(3)	選択	水揚げされた魚の出荷作業における工夫について、資料をもとに判断している。	基礎		☆						◎		94.9	92.0
3	(1)	選択	自動車の製造工程について理解している。	基礎			☆					◎		88.6	81.9
	(2)	選択	安全性の高い自動車づくりについて、資料をもとに考えている。	活用			☆					◎		95.0	89.3
	(3)	記述	日本の貿易の変化について、資料をもとに表現している。	活用			☆					◎		77.4	61.8
4	(1)	選択	情報の発信と受信の注意点について考えている。	基礎				☆				◎		89.0	79.0
	(2)	選択	情報を生かした産業について考えている。	基礎				☆				◎		93.1	83.6
5	(1)	選択	近年日本で起きた自然災害の発生場所について理解している。	基礎	☆							◎		60.3	46.0
	(2)	選択	人工林の役割について理解している。	基礎	☆							◎		80.0	80.1
6	(1)	選択	日本国憲法について理解している。	基礎					☆			◎		81.2	81.6
	(2)	短答	日本国憲法の原則である基本的人権の尊重について理解している。	基礎					☆			◎		68.8	75.3
7	(1)	選択	法律ができるまでの流れについて、資料を読み取っている。	基礎					☆			◎		75.9	77.4
	(2)	選択	租税の役割についての理解をもとに判断している。	活用					☆			◎		67.0	66.9
8	(1)	選択	弥生時代についての理解をもとに判断している。	活用						☆		◎		46.8	43.1
	(2)	選択	中大兄皇子が行ったことについて理解している。	基礎						☆		◎		81.4	78.2
	(3)	短答	かな文字について理解している。	基礎						☆		◎		73.0	69.9
9	(1)	選択	鎌倉幕府の政治の仕組みの理解をもとに、資料を読み取っている。	活用						☆		◎		59.9	60.6
	(2)	選択	能について理解している。	基礎						☆		◎		62.1	62.6
10	(1)	選択	織田信長の業績について理解している。	基礎						☆		◎		68.7	76.5
	(2)	選択	豊臣秀吉の業績(刀狩)について理解している。	基礎						☆		◎		80.9	84.9
	(3)	選択	江戸時代の禁教と鎖国について、適切な資料を判断している。	活用						☆		◎		66.1	72.1

◆設問別分析

・大問6(2)「日本国憲法の原則である基本的人権の尊重についての理解」：正答率 68.8%

人権について調べたノートをもとに、空欄にあてはまる言葉(基本的人権(の尊重))を書く問題である。正答率は参考値を6.5ポイント下回った。基本的人権には、平等権、自由権、社会権、参政権、裁判を受ける権利といった、人権保障を確かなものにするための権利があることを押さえ、それぞれの権利について、内容や具体的事例をまとめさせることが大切である。

・大問8(1)「弥生時代についての理解をもとに判断する」：正答率 46.8%

資料のような土器がつけられた時代について述べた文としてあてはまらないものを選ぶ問題である。正答率は全設問中で最も低かった。誤答は各選択肢に分散しており、誤答の選択肢②が11.6%、選択肢③が26.6%、選択肢④が14.7%見られた。土器などのさまざまな道具について、その道具が使われていた時代や使われ方などの特色を明らかにすることで、各時代の人々の生活の様子についての理解を深めさせることが大切である。

・大問10(3)「江戸時代の禁教と鎖国について、適切な資料を判断する」：正答率 66.1%

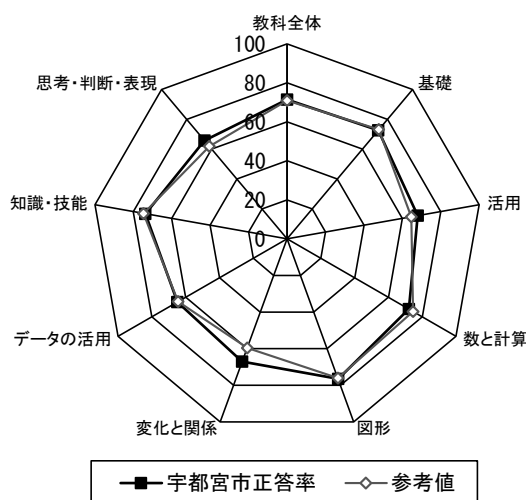
江戸時代の禁教と鎖国政策について説明する場合、必要となる資料としてふさわしいものを二つ選ぶ問題である。正答率は参考値を6.0ポイント下回った。正しい選択肢が一つのみの誤答が28.8%見られた。江戸幕府による禁教、貿易統制、外交独占の体制を鎖国と呼んでいることを押さえない。各資料が何を示しているのかを確認するとともに、資料をもとに、鎖国下でも、キリスト教の布教を行わないオランダと中国に限り、長崎の出島で引き続き貿易を行うことができたことや、キリスト教信者を見つけ出すために絵踏みを行ったことなどについて、自分の言葉で説明する力を養うことが大切である。

3) 小学校第6学年 算数

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	71.4	70.9
活用別		
基礎	72.6	73.1
活用	68.0	64.7
領域別		
数と計算	72.1	74.6
図形	76.5	76.1
変化と関係	67.1	59.7
データの活用	65.0	64.5
観点別		
知識・技能	73.8	74.7
思考・判断・表現	65.8	61.9

実施人数 3,854人



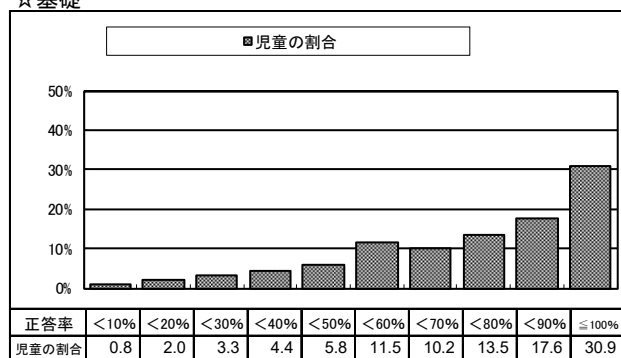
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

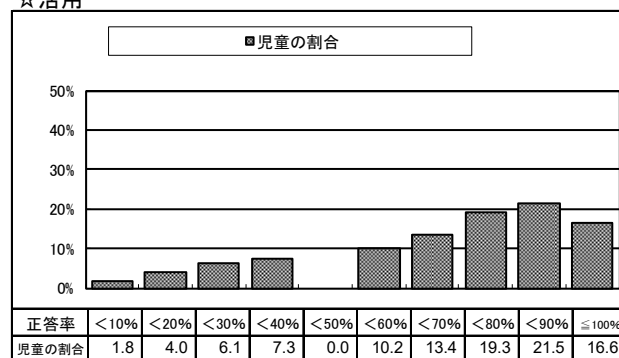
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は0.5ポイント下回っており、活用問題は3.3ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、上回っている領域は、「変化と関係」(+7.4ポイント)、「データの活用」(+0.5ポイント)、「図形」(+0.4ポイント)。下回っている領域は、「数と計算」(-2.5ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は0.9ポイント下回っており、「思考・判断・表現」は3.9ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



※活用は設問数が8問と少ないため、正答率40%~50%未満の児童の割合が低くなっている。

◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている児童の割合は48.5%、正答率が50%未満の児童の割合は16.3%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている児童の割合は81.0%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成					宇都宮市 正答率	参考値		
大問	中間	小問			基礎・活用	領域						観点	
						数と計算	図形	変化と関係	データの活用			知識・技能	思考・判断・表現
1	(1)	短答	小数第一位×小数第一位の計算ができる。	基礎	☆				◎		79.8	79.1	
	(2)	短答	小数第一位÷小数第一位=小数第二位(商が純小数)の計算ができる。	基礎	☆				◎		70.2	66.3	
	(3)	短答	真分数+真分数=真分数で、片方の分母にそろえる通分をする計算(約分あり)ができる。	基礎	☆				◎		76.7	81.8	
	(4)	短答	帯分数×真分数(約分2回)の計算ができる。	基礎	☆				◎		75.2	85.9	
	(5)	短答	真分数÷整数(約分1回)の計算ができる。	基礎	☆				◎		69.0	80.2	
2	(1)	選択	小数の乗法の文章問題を表した図の構造をとらえている。	活用	☆					◎	88.5	83.6	
	(2)	短答	図を使って、小数の乗法の文章問題に合った式を立式している。	基礎	☆					◎	73.4	61.2	
3	(1)	選択	基準量が分数の場合において、分数倍の比較量を求める式を選ぶことができる。	基礎	☆				◎		72.6	73.4	
	(2)	選択	比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選ぶことができる。	基礎	☆				◎		52.2	55.4	
4	(1)	短答	文字を使って、2つの数量の関係を1つの式に表している。	基礎	☆					◎	65.4	76.1	
	(2)	短答	2つの文字を使って表された式で、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	基礎	☆				◎		70.2	77.7	
5		選択	複雑な立体の体積を2つの直方体に分けて求めている。	活用		☆				◎	69.0	72.1	
6	(1)	選択	平行四辺形の面積を求める式を理解している。	基礎		☆			◎		75.2	68.0	
	(2)	選択	半径が与えられた円の面積を求める式を理解している。	基礎		☆			◎		84.0	89.2	
7		短答	三角形の3つの角の和を理解し、2つの角の大きさから1つの外角の大きさを求めることができる。	基礎		☆			◎		66.6	64.5	
8		選択	三角柱の展開図を組み立てたときに重なる頂点を理解している。	基礎		☆			◎		87.5	90.2	
9	(1)	短答	線対称な図形の対応する点について理解している。	基礎		☆			◎		51.1	48.0	
	(2)	選択	点対称な図形の、対応する2つの点を結んだ直線の長さについて理解している。	基礎		☆			◎		83.9	86.3	
	(3)	選択	正多角形の中から点対称な図形を選ぶことができる。	基礎		☆			◎		80.2	78.5	
10		短答	3辺の長さを使って、合同な三角形を作図することができる。	基礎		☆			◎		91.0	87.9	
11		短答	速さと時間から、道のりを求めることができる。	基礎			☆		◎		87.3	82.2	
12		選択	表から車両数と人数の割合を求め、どの路線が最も混んでいるかを考察している。	活用			☆			◎	69.4	65.8	
13		選択	値に0がある分離量の平均を求めている。	基礎			☆		◎		71.0	64.9	
14		短答	基準量と割合から、比較量を求めることができる。	基礎			☆		◎		58.7	55.6	
15		選択	円グラフを正しく読み取ることができる。	基礎			☆		◎		56.7	56.3	
16	(1)	記述	単位数あたりの大きさを求めて、どちらのセットの方が1冊あたりの値段が安いのかを説明している。	活用			☆			◎	64.0	57.7	
	(2)	短答	単価が異なるBセットとCセットを1つずつ買ったときの、ノート1冊あたりの値段を求めている。	活用			☆			◎	56.1	37.0	
17	(1)	短答	ドットプロットから、最頻値を読み取ることができる。	活用			☆		◎		76.0	76.5	
	(2)	短答	度数分布表を完成させることができる。	活用			☆		◎		85.7	86.1	
	(3)	記述	ヒストグラムの特徴をもとに、平均値付近の記録がしばしば多いわけではないことを説明している。	活用			☆			◎	35.5	38.5	

◆設問別分析

・大問4(1)「文字を使って、2つの数量の関係を一つの式に表す」：正答率 65.4%

問題場面の数量関係を読み取り、文字を用いた式に表す問題である。正答率は参考値を10.7ポイント下回った。誤答の原因としては、2つの数量の間の関係が理解できていないことや、文字を使った式に表すことに慣れていないことなどが考えられる。文字に数をあてはめて調べる活動などを通して、文字の使用に慣れさせていくことが大切である。

・大問15「円グラフを正しく読み取る」：正答率 56.7%

アンケートを行った結果を表した円グラフから読み取れることとして、正しい内容を選ぶ問題である。誤答の選択肢③が31.3%見られた。グラフの数値を読み取り、基準量と割合から求めた比較量を比べ、考察する力を高めることが大切である。

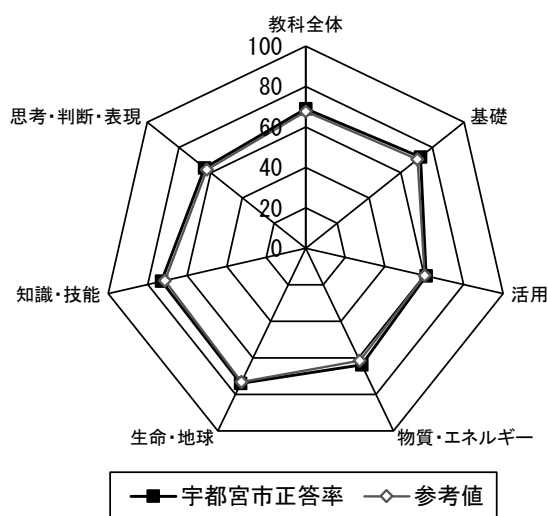
・大問17(3)「ヒストグラムの特徴をもとに説明する」：正答率 35.5%

ヒストグラムの特徴をもとに結論を説明する問題である。正答率は全設問中で最も低く、参考値を3.0ポイント下回った。無解答率は17.3%と全設問中で最も高かった。さまざまなデータの分布を比較する活動などを通して、分布の様子を的確にとらえる力を高めることが大切である。

4) 小学校第6学年 理科

【カテゴリー別正答率】 (%)

		宇都宮市 正答率	参考値
教科全体		69.1	67.6
活用別	基礎	72.4	70.6
	活用	60.9	60.3
領域別	物質・エネルギー	63.8	61.6
	生命・地球	74.1	73.3
観点別	知識・技能	73.0	71.3
	思考・判断・表現	63.8	62.5
実施人数		3,878人	



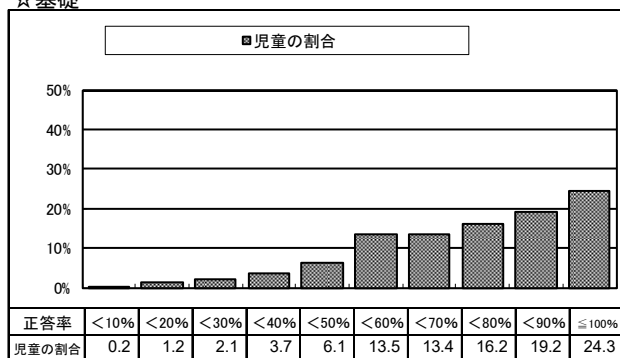
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

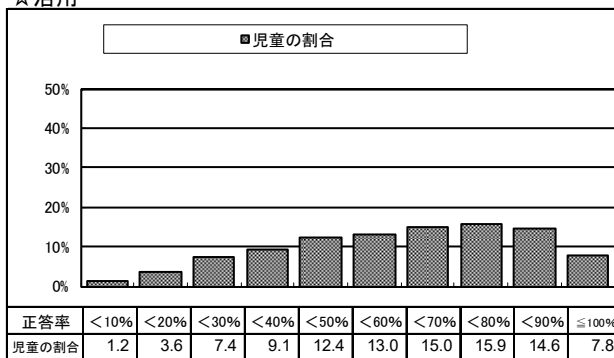
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は1.8ポイント、活用問題は0.6ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、すべての領域で上回っている。「物質・エネルギー」(+2.2ポイント)、「生命・地球」(+0.8ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は1.7ポイント、「思考・判断・表現」は1.3ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている児童の割合は43.5%、正答率が50%未満の児童の割合は13.3%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている児童の割合は66.3%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成					宇都宮市正答率	参考値
大問	中間	小問			基礎・活用	領域		観点			
						物質・エネルギー	生命・地球	知識・技能	思考・判断・表現		
1	(1)		選択	ごみ処理場での電磁石の利用方法から、電磁石の性質を指摘できる。	基礎	☆		◎		65.5	69.3
	(2)	①	選択	引きつけたゼムクリップの数から、コイルの巻き数と乾電池のつなぎ方を推測できる。	活用	☆			◎	54.6	50.5
		②	選択	2つの実験の結果のちがいがいから、電磁石の力の強さを変える要因を指摘できる。	基礎	☆			◎	52.9	51.6
2	(1)		短答	侵食について理解している。	基礎		☆	◎		61.4	56.1
	(2)		選択	流れる水のはたらきについて、予想が正しかった場合に得られる実験の結果を推測できる。	活用		☆		◎	61.9	61.6
	(3)		記述	流れる水のはたらきについて、目的の結果を得るための実験の方法を構想し、説明できる。	活用		☆		◎	59.9	59.9
3	(1)		選択	ふりこの周期の測定方法を理解している。	基礎	☆		◎		61.7	59.6
	(2)	①	選択	実験の方法と結果から、ふりこの条件を推測できる。	活用	☆			◎	55.1	52.6
		②	選択	ふりこの周期を理解し、実験の結果を推測できる。	基礎	☆			◎	57.7	52.2
4	(1)		短答	ものが水に溶けて透明になった液のことを、「水よう液」ということを理解している。	基礎	☆		◎		69.9	64.6
	(2)		選択	水に食塩を溶かしても、合計の重さが変わらないことを理解している。	基礎	☆		◎		75.6	78.5
	(3)		選択	ろ過のしかたで、正しくないところを指摘できる。	活用	☆			◎	63.1	63.5
5	(1)		選択	石灰水を白にごらせる気体が二酸化炭素であることを理解している。	基礎	☆		◎		90.0	89.9
	(2)		選択	酸素の捕集法を指摘できる。	基礎	☆			◎	87.2	84.8
	(3)		選択	木を缶の中で効率よく燃やす方法を指摘できる。	活用	☆			◎	74.1	68.6
6	(1)		短答	脈拍について理解している。	基礎		☆	◎		61.2	62.4
	(2)		選択	心臓と血液のはたらきを理解している。	基礎		☆	◎		64.4	66.7
	(3)		選択	仮説を確かめる実験を構想できる。	活用		☆		◎	64.7	66.6
7	(1)		短答	ヨウ素デンプン反応を理解している。	基礎		☆	◎		90.9	94.0
	(2)		選択	葉からでんぷんがなくなるのはいつかを考えることができる。	活用		☆		◎	63.8	70.8
	(3)		選択	植物が養分をつくるために必要なことを理解している。	基礎	☆		◎		87.4	91.2
8	(1)	①	短答	食物連鎖について理解している。	基礎		☆	◎		79.4	71.0
		②	選択	動物の食べ物のもとをたどると、最終的に植物にたどり着くことを理解している。	基礎		☆	◎		71.1	63.5
	(2)		選択	環境の変化によって、生物どうしの関わりに、どのような影響があるのかを推測できる。	基礎		☆		◎	82.7	81.2
9	(1)		短答	蒸発させたときに何も残らなかった水溶液には、気体が溶けていることを理解している。	基礎	☆		◎		31.1	26.2
	(2)		選択	リトマス紙の反応と水溶液の液性について理解している。	基礎	☆		◎		67.2	63.3
	(3)		記述	うすい塩酸と炭酸水を見分ける実験について構想し、説明できる。	活用	☆			◎	51.3	48.7
10	(1)		選択	月の形や位置の観察の方法を身に付けている。	基礎		☆	◎		89.2	90.8
	(2)		短答	月の位置と見え方を調べる実験で、ボールが表すものを指摘できる。	基礎		☆	◎		92.9	94.1
	(3)		選択	月、太陽、地球の位置関係と、月の見える形について理解している。	基礎		☆	◎		72.5	67.6
	(4)		選択	月の見える形が変わる理由を理解している。	基礎		☆	◎		81.9	74.6

◆設問別分析

・大問3(2)①「実験の方法と結果から、ふりこの条件を推測する」：正答率 55.1%

ふりこの条件とふりこの1往復にかかる時間をまとめた表にあてはまる数の組み合わせを選ぶ問題である。誤答の選択肢②が11.7%、選択肢③が20.5%見られた。振れ幅、ふりこの長さ、おもりの重さなどの条件と、ふりこの1往復する時間との関係を調べ、調べた結果をもとに考察する学習活動を工夫し、ふりこのきまりについて理解を深めさせることが大切である。

・大問7(2)「葉からでんぷんがなくなるのはいつかを考える」：正答率 63.8%

葉にでんぷんがつくられるためには何が必要か、葉からでんぷんがいつなくなったのかについて、正しい組み合わせを選ぶ問題である。正答率は参考値を7.0ポイント下回った。誤答の選択肢③が22.2%見られた。葉でできたでんぷんがその後どうなるのかについて、また、葉に日光を当てないと新たにでんぷんがつくられないことについて、実験を通して理解を深めさせることが大切である。

・大問9(3)「うすい塩酸と炭酸水を見分ける実験について構想し、説明する」：正答率 51.3%

うすい塩酸と炭酸水を区別するためにはどのような実験を行えばよいかを書く問題である。無解答率は13.9%と全設問中で最も高かった。各水溶液の性質について、においや泡、蒸発させたときの粒の有無、リトマス紙の色の変化の様子など、児童が観察や実験で調べ、結果を整理する活動を通して、確実な定着を図ることが大切である。

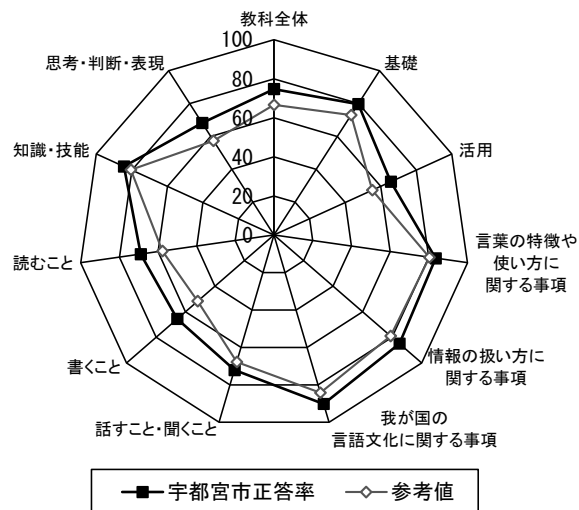
(3) 中学校第3学年結果分析

1) 中学校第3学年 国語

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	74.7	66.6
活用別		
基礎	79.7	73.1
活用	65.7	55.2
領域別		
言葉の特徴や使い方に関する事項	83.6	80.3
情報の扱い方に関する事項	85.0	78.9
我が国の言語文化に関する事項	90.2	84.2
話すこと・聞くこと	72.1	67.8
書くこと	65.5	51.8
読むこと	68.9	57.8
観点別		
知識・技能	84.4	80.5
思考・判断・表現	68.2	57.4

実施人数 3,596人



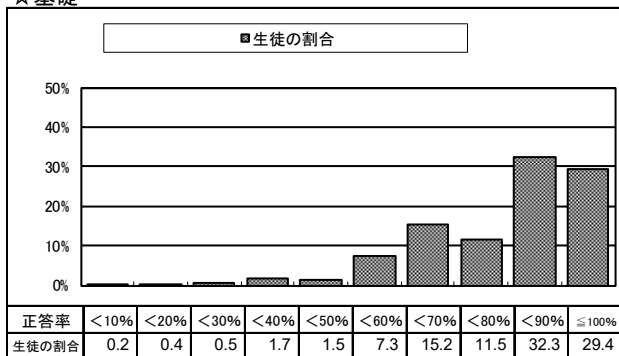
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

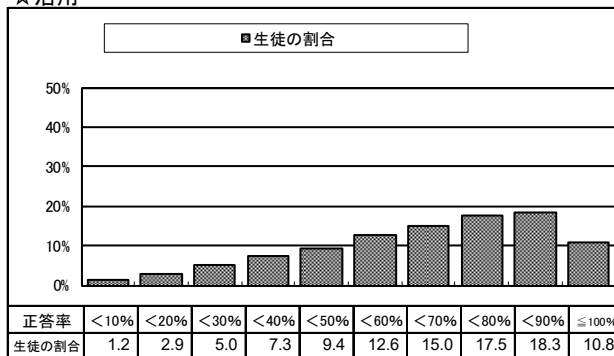
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は 6.6 ポイント、活用問題は 10.5 ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、すべての領域で上回っている。「書くこと」(+13.7 ポイント)、「読むこと」(+11.1 ポイント)、「情報の扱い方に関する事項」(+6.1 ポイント)、「我が国の言語文化に関する事項」(+6.0 ポイント)、「話すこと・聞くこと」(+4.3 ポイント)、「言葉の特徴や使い方に関する事項」(+3.3 ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は 3.9 ポイント、「思考・判断・表現」は 10.8 ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が 80%を超えている生徒の割合は 61.7%、正答率が 50%未満の生徒の割合は 4.3%となっている。
- ・活用問題において正答率が 50%を超えている生徒の割合は 74.2%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成								宇都宮市正答率	参考値
大問	中問	小問			基礎・活用	領域					観点			
						言葉に関する事項	情報の扱い	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能		
1	(1)		選択	話の展開を予測しながら聞いている。	基礎				☆			◎	90.7	87.2
	(2)		選択	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。	基礎				☆			◎	67.9	65.7
	(3)		記述	自分の考えを明確にし、論理の展開を考えて話している。	活用				☆			◎	57.5	50.4
2	(1)	①	短答	第3学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	基礎	☆						◎	95.1	92.4
		②	短答		基礎	☆						◎	99.0	98.3
		③	短答		基礎	☆						◎	98.4	97.1
	(2)	①	短答	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	基礎	☆						◎	88.5	83.9
		②	短答		基礎	☆						◎	77.4	76.1
		③	短答		基礎	☆						◎	73.5	61.9
3	(1)		選択	現代語訳を手掛かりに古典を読んでいる。	基礎			☆			◎	90.2	84.2	
	(2)		選択	類義語について理解している。	基礎	☆					◎	44.7	46.4	
	(3)		選択	故事成語について理解している。	活用	☆					◎	92.4	86.3	
4	(1)		選択	論理の展開の仕方を捉えている。	基礎						☆	◎	82.3	79.5
	(2)		選択	文章の構成や論理の展開について評価している。	基礎						☆	◎	60.6	51.9
	(3)		短答	論理の展開の仕方を捉えている。	活用						☆	◎	56.8	44.7
5	(1)		選択	物語の展開の仕方を捉えている。	基礎						☆	◎	80.0	65.5
	(2)		選択	文章の表現の仕方について評価している。	基礎						☆	◎	71.4	57.3
	(3)		選択	文章を読んで考えを広げたり深めたりして、自分の意見をもっている。	活用						☆	◎	62.2	47.8
6	(1)		選択	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。	活用		☆				◎	85.0	78.9	
	(2)		選択	自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。	活用				☆			◎	69.4	60.4
	(3)		記述		活用				☆			◎	47.1	37.3
7			記述	目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。	基礎				☆			◎	79.3	61.8
			記述	文章の構成を工夫している。	基礎				☆			◎	76.7	59.9
			記述	自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。	活用				☆			◎	60.0	45.9
			記述		活用				☆			◎	60.8	45.2

◆設問別分析

・大問1(3)「自分の考えを明確にし、論理の展開を考えて話す」：正答率 57.5%

発表の練習の中で聞き手から質問されたことを踏まえ、発表の本番でどのように話すかよいかを条件にしたがって書く問題である。正答率は参考値を7.1ポイント上回ったものの、無解答率は8.8%であった。また、使用する語句や書くべき内容など、条件の一部を満たしていない誤答が合わせて28.6%見られた。発表の練習の中で、質問や返答の流れをとらえた上で、聞き手を意識し、筋道の通った話の進め方ができるように指導することが大切である。

・大問3(2)「類義語についての理解」：正答率 44.7%

二つの熟語が類義語の組み合わせである選択肢を選ぶ問題である。正答率は全設問中で最も低く、参考値を1.7ポイント下回った。誤答の選択肢②が21.3%、選択肢④が32.1%見られた。言葉を通じた理解や表現のためには、語彙を充実させることが重要である。類義語、対義語、同音異義語、同訓異字、四字熟語などについて、話や文章の中で使うよう指導することが大切である。

・大問6(3)「紹介する文章を書く」：正答率 47.1%

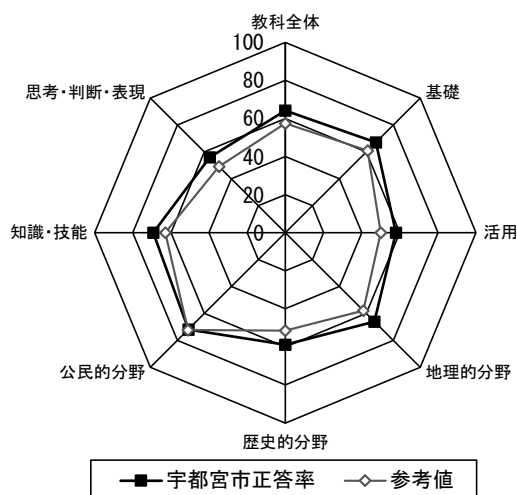
【文章の下書き】のまとめの部分、条件にしたがって書く問題である。正答率は参考値を9.8ポイント上回ったものの、無解答率は25.2%と全設問中で最も高かった。条件に挙げられている書くべき内容のうち、いずれか一つを書いていない誤答が、合わせて15.5%見られた。複数のテキストを組み合わせて考える場合には、それぞれのテキストが提示する情報や、テキスト同士の関連について考えさせることが大切である。また、調べたことをもとに発表したり、文章を書いたりする活動に取り組みさせる際には、自分の考えを支える根拠が適切かどうかを検討し、説得力を増すために、根拠を具体的に記述することができるよう指導することも大切である。

2) 中学校第3学年 社会

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	64.1	57.4
活用別		
基礎	67.1	61.1
活用	58.0	50.1
領域別		
地理的分野	66.0	57.8
歴史的分野	58.9	51.4
公民的分野	72.0	72.2
観点別		
知識・技能	69.3	62.9
思考・判断・表現	56.0	49.1

実施人数 3,595人



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

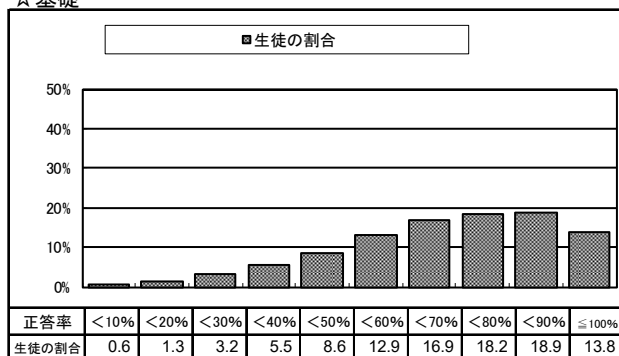
※社会については、出題した設問の中に本市独自の設問もあり、「参考値」がすべての設問に対応した値ではない。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

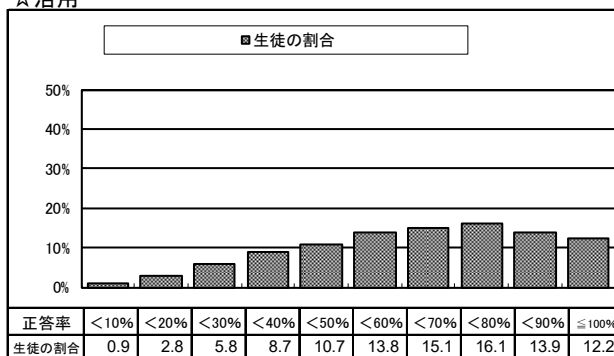
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は6.0ポイント、活用問題は7.9ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、上回っている領域は、「地理的分野」(+8.2ポイント)、「歴史的分野」(+7.5ポイント)。下回っている領域は、「公民的分野」(-0.2ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は6.4ポイント、「思考・判断・表現」は6.9ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている生徒の割合は32.7%、正答率が50%未満の生徒の割合は19.2%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている生徒の割合は71.1%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成					宇都宮市正答率	参考値	
大問	中間	小問			基礎・活用	領域			観点			
						地理的分野	歴史的分野	公民的分野	知識・技能			思考・判断・表現
1	(1)		選択	海洋の分布について理解している。	基礎	☆			◎		87.5	78.8
	(2)		短答	本初子午線について理解している。	基礎	☆			◎		79.7	64.1
	(3)		記述	中心からの距離と方位が正しい地図についての理解をもとに考察し、表現している。	活用	☆				◎	46.5	42.0
2	(1)		選択	日本の地形の特色について理解している。	基礎	☆			◎		79.2	74.6
	(2)		選択	日本の資源の輸入先についての理解をもとに判断している。	活用	☆				◎	59.9	61.5
	(3)	①	短答	日本の交通網の特色についての理解をもとに判断している。	活用	☆				◎	73.9	65.8
		②	選択	日本の気候の特色についての理解をもとに判断している。	活用	☆				◎	42.6	32.7
		③	選択	日本の人口の分布について理解している。	基礎	☆				◎	64.5	54.9
3	(1)		選択	日本の各地方の自然環境について理解している。	基礎	☆			◎		72.9	69.7
	(2)		選択	日本の農業の特色についての理解をもとに、資料を読み取っている。	活用	☆			◎		73.2	57.3
	(3)		選択	東北地方・九州地方の産業と人口の特色についての理解をもとに、考察している。	活用	☆				◎	59.8	47.9
	(4)		選択	日本の貿易の特色について理解している。	基礎	☆			◎		51.9	43.9
4	(1)		短答	世紀の表し方について理解している。	基礎		☆		◎		52.8	45.7
	(2)		短答	竪穴住居について理解している。	基礎		☆		◎		91.7	89.6
	(3)		選択	中国文明の発展について考察している。	基礎		☆			◎	49.9	45.7
	(4)		短答	金印について理解している。	基礎		☆		◎		54.9	43.9
	(5)		選択	大和政権の勢力の広がりについて資料をもとに判断している。	基礎		☆			◎	62.6	58.6
5	(1)	①	選択	公事方御定書について考察している。	基礎		☆			◎	53.1	41.9
		②	選択	伊能忠敬について理解している。	基礎		☆		◎		87.2	82.6
	(2)		選択	徳川綱吉の政治について、資料を読み取っている。	基礎		☆		◎		68.5	55.4
	(3)		選択	江戸時代の対外関係について理解している。	基礎		☆		◎		33.7	30.6
6	(4)		選択	幕府の政治改革についての理解をもとに、資料に着目して判断している。	活用		☆			◎	54.5	39.3
	(1)		短答	徴兵令について理解している。	基礎		☆		◎		51.3	39.4
	(2)		選択	明治時代初期に日本が結んだ条規について、資料をもとに判断している。	活用		☆			◎	52.0	44.6
7	(3)		選択	国会開設の勅諭と政党の結成について理解している。	基礎		☆		◎		52.9	50.8
	(1)		選択	物事の採決の仕方について判断している。	活用			☆		◎	52.2	48.8
8	(2)		選択	日本の少子高齢化にともなう課題について、資料を読み取っている。	基礎			☆	◎		80.8	77.2
	(1)		選択	フランス人権宣言の主な内容を理解している。	基礎			☆	◎		87.2	90.9
	(2)		選択	憲法改正の手続きについて理解している。	基礎			☆	◎		65.1	—
	(3)		記述	公共の福祉について、資料の内容に着目して、自分の言葉で表現している。	活用			☆		◎	65.0	60.9
	(4)		選択	新しい人権について理解している。	基礎			☆	◎		81.4	83.3

◆設問別分析

・大問1(3)「中心からの距離と方位が正しい地図についての理解をもとに考察する」：正答率 46.5%

中心からの距離と方位が正しい地図で、南アメリカ大陸がユーラシア大陸よりも大きく描かれている理由を説明する問題である。正答率は参考値を4.5ポイント上回っているものの、無解答率は12.6%であった。各図法で描かれた世界地図の特色を押さえることが重要である。

・大問5(3)「江戸時代の対外関係についての理解」：正答率 33.7%

カードCの空欄に入る地についての説明として適切な選択肢を選ぶ問題である。正答率は参考値を3.1ポイント上回ったものの、全設問中で最も低かった。誤答は各選択肢に分散しており、選択肢①が25.0%、選択肢②が14.2%、選択肢③が26.3%見られた。江戸幕府による鎖国下でも、長崎、対馬、薩摩、松前が外国に開かれ、キリスト教の布教を行わないオランダや中国とは、長崎で引き続き貿易が行われていたことを、地理的な位置とともに押さえることが大切である。

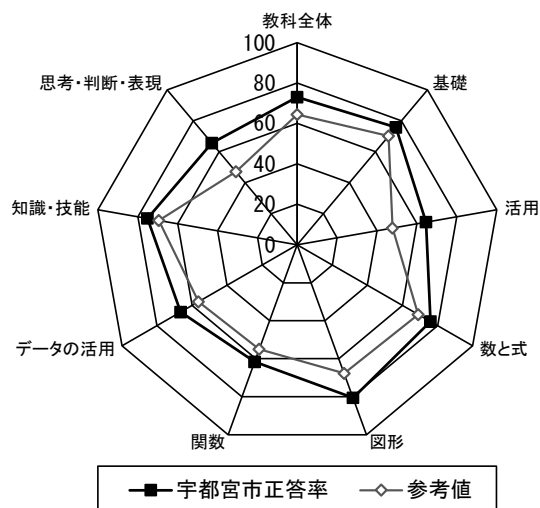
・大問7(1)「物事の採決の仕方について判断する」：正答率 52.2%

物事の採決の仕方について、決定にかかる時間と地域の意見が反映される度合いをまとめた資料をもとに判断する問題である。正答率は参考値を3.4ポイント上回ったものの、誤答の選択肢①が13.2%、選択肢②が28.2%見られた。現代の社会的事象について関心を高め、主体的に社会に関わろうとする態度を養うことが重要である。

3) 中学校第3学年 数学

【カテゴリー別正答率】 (%)

		宇都宮市 正答率	参考値
教科全体		73.0	64.4
活用別・ 基礎別	基礎	75.9	70.2
	活用	64.6	47.7
領域別	数と式	76.0	69.0
	図形	80.5	67.7
	関数	61.6	55.0
	データの活用	66.5	56.4
観点別	知識・技能	75.1	69.4
	思考・判断・表現	65.6	47.1
実施人数		3,600人	



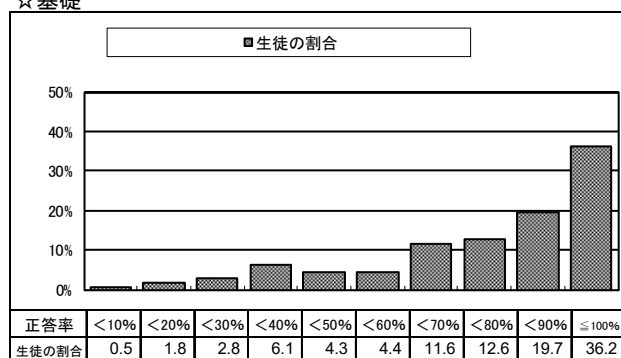
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

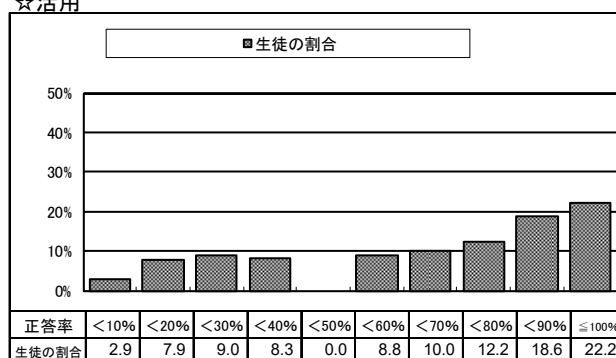
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は5.7ポイント、活用問題は16.9ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、すべての領域で上回っている。「図形」(+12.8ポイント)、「データの活用」(+10.1ポイント)、「数と式」(+7.0ポイント)、「関数」(+6.6ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は5.7ポイント、「思考・判断・表現」は18.5ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



※活用は設問数が8問と少ないため、正答率40%～50%未満の生徒の割合が低くなっている。

◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている生徒の割合は55.9%、正答率が50%未満の生徒の割合は15.5%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている生徒の割合は71.8%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成					宇都宮市正答率	参考値		
大問	中間	小問			基礎・活用	領域						観点	
						数と式	図形	関数	データの活用			知識・技能	思考・判断・表現
1	(1)		短答	正負の数の加法ができる。	基礎	☆				◎	94.9	83.0	
	(2)		短答	負の数の乗法ができる。	基礎	☆				◎	96.0	87.3	
	(3)		短答	同類項をまとめることができる。	基礎	☆				◎	90.4	83.5	
2	(1)		短答	$(x+a)(x+b)$ の公式を使った展開ができる。	基礎	☆				◎	82.4	81.9	
	(2)		短答	乗法の公式を使って式を簡単にすることができる。	基礎	☆				◎	39.8	57.5	
3			選択	平方根の大小を理解している。	基礎	☆				◎	64.2	68.5	
4	(1)		短答	根号をふくむ式の除法の計算ができる。	基礎	☆				◎	79.6	77.9	
	(2)		短答	根号をふくむ式の加減の計算ができる。	基礎	☆				◎	73.9	75.7	
5	(1)		短答	加減法を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	基礎	☆				◎	85.4	77.1	
	(2)		短答	因数分解を使って二次方程式を解くことができる。	基礎	☆				◎	72.0	70.0	
6			選択	具体的な事象における数量の関係をとらえ、その関係を比例式で表すことができる。	活用	☆				◎	87.5	77.4	
7			選択	与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式することができる。	活用	☆				◎	57.8	44.6	
8			選択	比例の関係について理解している。	基礎			☆		◎	39.0	50.5	
9	(1)		選択	具体的な事象について、 y が x に反比例することをもとに、その式を立式することができる。	活用			☆		◎	65.8	45.4	
	(2)		選択	1次関数の式から、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができる。	基礎			☆		◎	62.8	53.5	
	(3)		短答	1組の x 、 y の値から、関数 $y=ax^2$ の式を立式することができる。	基礎			☆		◎	68.4	64.6	
	(4)		選択	関数 $y=ax^2$ における y の変域を求めることができる。	基礎			☆		◎	72.4	66.8	
10			選択	正方形の辺上の動点を頂点とする三角形の、面積の変化のようすを表すグラフを考えるとすることができる。	活用			☆		◎	61.0	49.0	
11	(1)		選択	赤球4個、青球2個の中から1個取り出すときの確率を求めることができる。	基礎				☆	◎	82.0	74.8	
	(2)		選択	5人の中から2人の代表を選ぶときの確率を求めることができる。	基礎				☆	◎	78.4	67.6	
12			短答	おうぎ形の面積を求めることができる。	基礎			☆		◎	61.4	42.4	
13			選択	直方体から三角柱を切り取った立体の辺のねじれの位置関係について理解している。	基礎			☆		◎	81.7	70.2	
14	(1)		選択	対称移動させて重ね合わせることができる四角形について、対応する点の位置を選ぶことができる。	基礎			☆		◎	78.9	69.9	
	(2)		選択	平行移動させた三角形について、正しいものを選ぶことができる。	基礎			☆		◎	90.3	83.8	
15			短答	補助線をひいて、平行線と錯角の関係を利用して角の大きさを求めることができる。	基礎			☆		◎	79.7	63.6	
16	(1)		選択	与えられた事柄から、角が等しくなる根拠を判断することができる。	基礎			☆		◎	79.9	64.7	
	(2)		選択	与えられた事柄から、正しい三角形の合同条件を判断することができる。	基礎			☆		◎	91.6	79.5	
17	(1)		短答	四分位範囲を求めることができる。	活用				☆	◎	58.2	52.0	
	(2)		記述	箱ひげ図から、示された主張ができる理由を説明することができる。	活用				☆	◎	47.3	31.1	
18	(1)		短答	説明を読み、示された式の別の意味を示すことができる。	活用	☆				◎	70.0	40.7	
	(2)		記述	囲んだ数の和が、5の倍数であることの説明を完成することができる。	活用	☆				◎	69.5	41.5	

◆設問別分析

・大問2(2)「乗法公式を使って式を簡単にする」：正答率 39.8%

乗法公式を使って式を簡単にする問題である。正答率は参考値を 17.7 ポイント下回った。無解答率は 5.9%であった。乗法公式を用いた式の展開や因数分解については、公式のもつ意味について理解を深め、演習を通して繰り返し指導する中で定着を図ることが大切である。

・大問8「比例の関係についての理解」：正答率 39.0%

比例の関係について正しく説明している選択肢を選ぶ問題である。正答率は全設問中で最も低く、参考値を 11.5 ポイント下回った。誤答の選択肢②が 34.2%、選択肢③が 17.1%見られた。身の回りの事象を取り上げ、比例の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けながら、理解を深めさせることが重要である。

・大問17(2)「箱ひげ図から、示された主張ができる理由を説明する」：正答率 47.3%

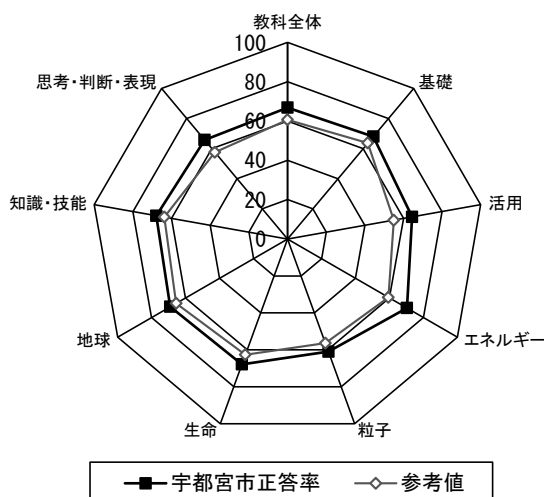
二つの箱ひげ図から読み取ったことをもとに、示された主張ができる理由を説明する問題である。正答率は参考値を 16.2 ポイント上回っているものの、無解答率は 22.0%と全設問中で最も高かった。既習事項と関連付けて箱ひげ図を理解し、データ分布の傾向を読み取り、批判的に考察できるよう指導することに加え、日頃から数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動を展開することが大切である。

4) 中学校第3学年 理科

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	66.8	60.7
活基礎 活用別	基礎	63.7
	活用	54.9
領域別	エネルギー	59.4
	粒子	56.4
	生命	62.7
	地球	62.7
観点別	知識・技能	63.8
	思考・判断・表現	57.6

実施人数 3,607人



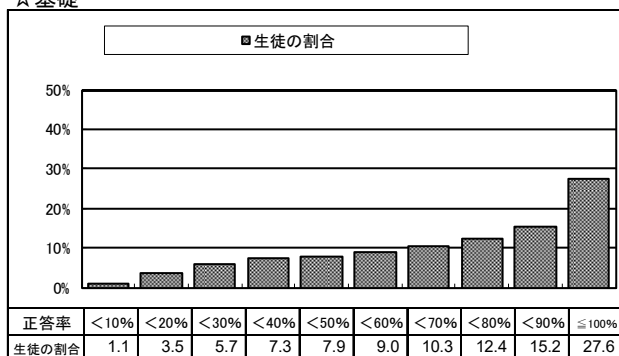
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

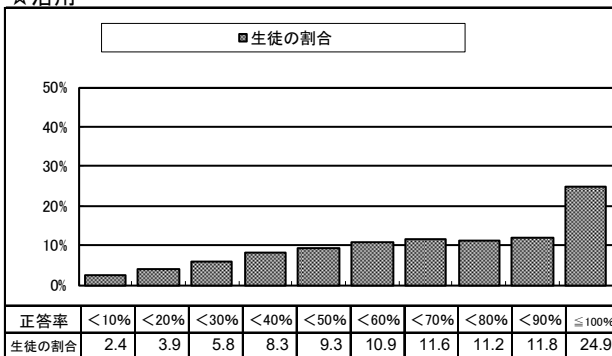
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は4.3ポイント、活用問題は9.6ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、すべての領域で上回っている。「エネルギー」(+10.9ポイント)、「生命」(+5.2ポイント)、「粒子」(+4.7ポイント)、「地球」(+3.5ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は4.1ポイント、「思考・判断・表現」は8.1ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている生徒の割合は42.8%、正答率が50%未満の生徒の割合は25.5%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている生徒の割合は70.4%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成						宇都宮市正答率	参考値	
大問	中間	小問			基礎・活用	領域				観点			
						エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能			思考・判断・表現
1	(1)		短答	軟体動物について理解している。	基礎			☆		◎		64.8	61.5
	(2)		短答	外骨格について理解している。	基礎			☆		◎		71.9	57.2
	(3)		選択	背骨をもち、卵を産む動物を、さらに2つに分類するための特徴を構想できる。	活用			☆		◎		77.5	61.3
2	(1)		選択	質量パーセント濃度を求める式を理解している。	基礎		☆			◎		54.5	58.7
	(2)		選択	溶解度のグラフから、水溶液を冷やしていったとき、結晶が最も多く得られる水溶液を分析できる。	活用		☆			◎		47.7	44.7
	(3)		選択	結晶が出てこなかった水溶液から結晶をとり出す方法を指摘できる。	基礎		☆			◎		66.9	56.7
3	(1)		短答	光の反射の法則について理解している。	活用	☆				◎		74.1	67.0
	(2)	①	選択	平面鏡と凸面鏡で見える範囲を指摘できる。	活用	☆				◎		84.1	71.0
		②	記述	カーブミラーに凸面鏡を利用している理由を説明できる。	活用	☆				◎		75.3	54.0
4	(1)		選択	マグニチュードと震度の意味を理解している。	基礎				☆	◎		80.0	75.4
	(2)		選択	震度の大きさと震源からの距離の関係を理解している。	基礎				☆	◎		74.3	66.5
	(3)		短答	初期微動を理解している。	基礎				☆	◎		74.8	67.2
5	(1)		選択	葉の表側にワセリンをぬった植物がどこで蒸散しているのかを指摘できる。	基礎			☆		◎		67.5	60.9
	(2)	①	短答	葉の裏側のほうが表側より気孔の数が多いことを理解している。	基礎			☆		◎		70.8	64.6
		②	選択	実験で用いた枝を、水の減少量が多い順に指摘できる。	基礎			☆		◎		79.4	73.9
6	(1)		選択	化学変化の前後で変化するものと変化しないものを理解している。	基礎		☆			◎		69.4	55.1
	(2)	①	記述	より多くの酸化銅を得るために、銅の粉末をかためて置く方法が適さない理由を説明できる。	活用		☆			◎		71.0	62.5
		②	選択	銅と酸化銅の質量の関係を指摘できる。	基礎		☆			◎		71.6	64.1
7	(1)		短答	静電気について理解している。	基礎	☆				◎		78.2	66.3
	(2)		記述	粉末インクが帯電していない部分以外に付着しない理由を説明できる。	活用	☆				◎		41.9	29.1
	(3)		選択	感光体の全体に光を当てた状態でコピーしたときの結果を推測できる。	活用	☆				◎		60.0	45.5
8	(1)		短答	等圧線について理解している。	基礎				☆	◎		66.4	69.1
	(2)		選択	低気圧とそのまわりの大気の流れを指摘できる。	基礎				☆	◎		56.1	53.5
	(3)		選択	大気圧について理解している。	基礎				☆	◎		62.9	61.7
9	(1)		短答	子の代の種子の遺伝子の組み合わせを理解している。	基礎			☆		◎		71.9	74.0
	(2)		選択	孫の代の種子の遺伝子の組み合わせを考えることができる。	活用			☆		◎		57.5	55.4
	(3)		短答	遺伝子について理解している。	基礎			☆		◎		50.0	56.0
10	(1)		選択	酸性の水溶液にアルカリ性の水溶液を加えていったときの、水溶液の性質の変化を指摘できる。	基礎		☆			◎		63.7	71.0
	(2)		短答	塩について理解している。	基礎		☆			◎		58.6	49.0
	(3)		選択	塩酸に水酸化ナトリウム水溶液を加えていったときの、水素イオンの数の変化を指摘できる。	活用		☆			◎		46.1	46.1
11	(1)		選択	位置エネルギーと運動エネルギーが移り変わる運動で、おもりの速さが最大になる点を指摘できる。	基礎	☆				◎		75.4	74.6
	(2)		選択	力学的エネルギーの保存について理解し、おもりの正しい振り方を指摘できる。	活用	☆				◎		73.7	67.7

◆設問別分析

・大問2 (1) 「質量パーセント濃度を求める式についての理解」：正答率 54.5%

実験②の飽和水溶液の質量パーセント濃度を求める式を選ぶ問題である。正答率は参考値を4.2ポイント下回った。誤答は各選択肢に分散しており、選択肢①が11.4%、選択肢③が21.0%、選択肢④が12.7%見られた。濃度は溶液（溶質＋溶媒）中の溶質の割合で示されることを丁寧に確認したい。

・大問9 (3) 「遺伝子についての理解」：正答率 50.0%

「遺伝子」という語句を答える問題である。正答率は参考値を6.0ポイント下回った。無解答率は11.1%であった。学習した用語を用いて説明するなどの活動に取り組みさせる中で、用語の定着を図ることが大切である。

・大問10 (3) 「イオンの数の変化」：正答率 46.1%

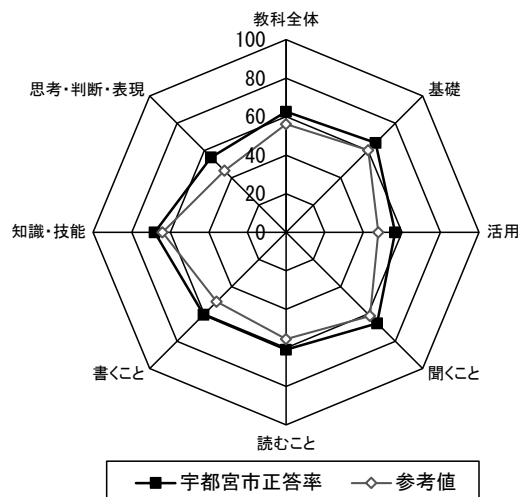
塩酸に水酸化ナトリウム水溶液を加えていったときの、水素イオンの数の変化を表すグラフを選ぶ問題である。誤答は各選択肢に分散しており、選択肢②が24.9%、選択肢③が13.3%、選択肢④が14.8%見られた。水溶液中のイオンをモデルで示して視覚的にとらえさせることで、中和についての理解を深めさせることが大切である。

5) 中学校第3学年 英語

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	62.6	56.0
活用別・基礎	65.6	60.2
活用別・活用	56.5	47.7
領域別		
聞くこと	66.8	61.5
読むこと	60.9	55.5
書くこと	60.5	50.9
観点別		
知識・技能	68.1	64.1
思考・判断・表現	55.0	45.2

実施人数 3,603人



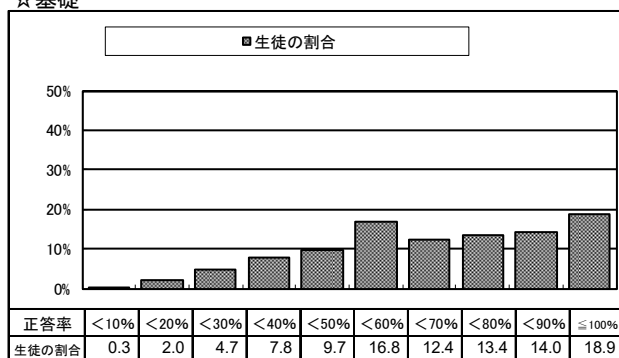
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

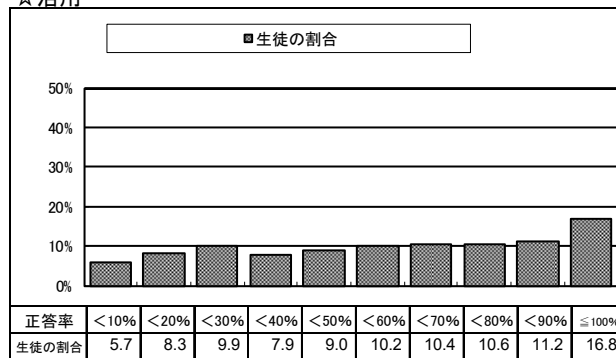
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は5.4ポイント、活用問題は8.8ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、すべての領域で上回っている。「書くこと」(+9.6ポイント)、「読むこと」(+5.4ポイント)、「聞くこと」(+5.3ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は4.0ポイント、「思考・判断・表現」は9.8ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている生徒の割合は32.9%、正答率が50%未満の生徒の割合は24.5%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている生徒の割合は59.2%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成					宇都宮市正答率	参考値	
大問	中間	小問			基礎・活用	領域			観点			
						聞くこと	読むこと	書くこと	知識・技能			思考・判断・表現
1	(1)		選択	英文を聞き、その内容を理解して、英文の内容に合う絵を選んでいる。(物の説明)	基礎	☆			◎	95.8	96.7	
	(2)		選択	英文を聞き、その内容を理解して、英文の内容に合う絵を選んでいる。(物の位置)	基礎	☆			◎	84.3	86.8	
	(3)		選択	英文を聞き、その内容を理解して、英文の内容に合う絵を選んでいる。(映画の上映時間)	基礎	☆			◎	27.1	21.0	
	(4)		選択	英文を聞き、その内容を理解して、英文の内容に合う絵を選んでいる。(道案内)	基礎	☆			◎	77.8	77.2	
2	(1)		選択	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に回答している。(よく訪れるのかとたずねられて)	基礎	☆			◎	80.9	71.9	
	(2)		選択	対話を聞き、その内容を理解して、適切に回答している。(一緒に運んでくれないかと頼まれて)	基礎	☆			◎	66.5	57.2	
	(3)		選択	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に回答している。(外出先を告げられて)	基礎	☆			◎	60.8	49.5	
3			選択	日常的な話題について聞き、概要を捉えている。	活用	☆			◎	89.0	84.1	
4			選択	日常的な話題について、必要な情報を聞き取っている。	活用	☆			◎	52.6	49.2	
5			記述	英文を聞き、その要点を捉えて自分の考えを書いている。	活用	☆			◎	32.7	21.3	
6	(1)	①	選択	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(最上級)	基礎		☆		◎	76.0	70.5	
		②	選択	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(現在完了(経験))	基礎		☆		◎	77.5	84.3	
		③	選択	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(現在分詞の用法)	基礎		☆		◎	68.3	72.5	
		④	選択	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(副詞的用法の不定詞)	基礎		☆		◎	55.5	51.4	
	(2)	①	選択	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	基礎		☆		◎	76.9	80.6	
		②	選択	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	基礎		☆		◎	80.2	71.4	
7	(1)		選択	発表のための原稿を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいる。	活用		☆		◎	39.8	34.5	
	(2)		選択	チラシを読み、必要な情報がどの部分にあるかを把握して、適切な箇所を選んでいる。	活用		☆		◎	80.4	73.0	
	(3)	①	選択	対話文を読み、対話の流れと資料から、必要な情報を把握して適切なグラフを選んでいる。	活用		☆		◎	34.8	34.1	
		②	選択	対話文を読み、対話の流れと資料から、文脈に応じた英文を選んでいる。	活用		☆		◎	52.8	55.9	
8	(1)		選択	メールを読み、代名詞themが指す内容を理解している。	基礎		☆		◎	62.3	46.6	
	(2)		選択	メールを読み、その内容を理解している。	基礎		☆		◎	56.4	41.1	
	(3)		選択	メールを読み、その内容を理解している。	基礎		☆		◎	50.5	37.3	
	(4)		短答	メールを読み、その概要を捉えて英文を完成させている。	活用		☆		◎	41.2	23.4	
9	(1)		短答	文の語順を理解し、正確に書いている。(〈make+(代)名詞+形容詞〉)	基礎			☆	◎	82.2	63.9	
	(2)		短答	文の語順を理解し、正確に書いている。(未来を表すwill)	基礎			☆	◎	78.3	71.8	
	(3)		短答	文の語順を理解し、正確に書いている。(助動詞have toの否定文)	基礎			☆	◎	78.2	71.9	
	(4)		短答	文の語順を理解し、正確に書いている。(〈look+形容詞〉の否定文)	基礎			☆	◎	48.2	58.9	
10	(1)		記述	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(howを使って交通手段をたずねる)	基礎			☆	◎	30.3	20.9	
	(2)		記述	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(未来の予定について時期をたずねる)	基礎			☆	◎	29.2	20.7	
11			記述	学習に取り組む場所について、自分の考えや意見を、相手に伝わるように書いている。	活用			☆	◎	75.0	60.0	
			記述	自分の考えや意見についての具体的な理由や説明を、相手に伝わるように書いている。	活用			☆	◎	66.2	51.8	
			記述	自分の考えや意見を、まとまった内容で紹介する英文を、相手に伝わるように書いている。	活用			☆	◎	57.3	37.9	

◆設問別分析

・大問1 (3)「リスニング(内容理解)」: 正答率 27.1%

映画の上映時間に関する英文を聞き取り、その内容に合う絵を選ぶ問題である。正答率は参考値を6.1ポイント上回ったものの、全設問中で最も低かった。誤答の選択肢③が57.2%と、正答の割合を上回った。ポイントとなる表現に注目させ、情報を比較し内容をとらえることができるよう指導することが大切である。

・大問7 (3) ①「さまざまな英文の読み取り」: 正答率 34.8%

対話文を読み、対話の流れと資料から、必要な情報を把握して適切なグラフを選ぶ問題である。誤答の選択肢③が49.8%と、正答の割合を上回った。英文と資料の情報を比較しながら、内容を適切にとらえ、必要な情報を読み取ることができるよう指導することが大切である。

・大問9 (4)「単語の並べかえによる英作文(look+形容詞)」: 正答率 48.2%

対話の流れに合った文を書く問題である。正答率は参考値を10.7ポイント下回った。「～のように見える」というlookについては、用法の理解ののちに、語順などについて、例示したり生徒の発話を取り上げたりしながら誤りを修正し練習するなど、継続的な指導により定着を図ることが大切である。

(4) 指導の工夫・改善

小学校第6学年 国語

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 75.2%、活用問題は 63.9%となっており、参考値との差は、それぞれ、 -0.8 ポイント、 -0.6 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率はともに参考値と同程度であった。言葉による見方・考え方を働かせ、言葉や文章を正確に理解したり、適切に表現したりするために必要となる、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成に向けた指導を継続する必要がある。

話や文章に含まれている情報を整理したり、情報と情報との関係を明確にしたりすることは、話や文章で適切に表現することにつながるため、今後も、文章で表された情報を的確にとらえるとともに、集めた材料や読み取ったことをもとに、既存の知識やさまざまな体験と結び付けて自分の考えを形成し、分かりやすく伝えるように表現を工夫することを重視して指導することが重要である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、文と文との接続の関係についての理解に課題が見られた。文と文との接続の関係についての理解を深めることは、分かりやすい文章を書く力を高めるためにも重要である。自分で書いた文が一文として長くなり、分かりにくくなっていないかを確認し、長い一文を接続詞を使って二文に書き直すなど、文と文の接続関係を意識して推敲する活動に取り組ませることが大切である。
- 「情報の扱い方に関する事項」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。その理由として、話や文章に含まれている情報と情報との関係について整理する力を身に付けることを重視した指導の充実が図られていることが考えられる。
- 「我が国の言語文化に関する事項」では、和語、漢語、外来語についての理解に課題が見られた。語源や、その語がどのように伝わってきたのかについて関心をもち、そこから語句について辞書や事典などで調べる活動や、語句を話や文章で使ったり、関連する語について更に調べたりする学習展開を工夫することで、言葉のまとまりについて理解を深めさせることが大切である。
- 「話すこと・聞くこと」では、自分が聞こうとする意図に応じて、インタビューの内容をとらえることに課題が見られた。インタビューの目的を明確にした上で話を聞くよう指導し、メモを取りながら話を聞くことや、聞き取ったことを相手に伝えて内容を確認することなど、話し方・聞き方の技能の習得を図ることが大切である。
- 「書くこと」では、文章全体の構成や展開を考えて書くことや、予想される反論とそれに対する意見を書くことなどに課題が見られた。書く前に、必要な材料を十分に集め、文章の組み立てを考えさせることが大切である。その上で、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するよう指導することが重要である。
- 「読むこと」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。その理由として、文学的な文章で、描写をもとに人物の心情を想像することや、説明的な文章で、事実と感想、意見などの関係を押さえることを重視した指導の充実が図られていることが考えられる。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 78.5%、活用問題は 67.1%となっており、参考値との差は、それぞれ、+2.3 ポイント、+3.7 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、基礎的・基本的な知識の定着とともに、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多面的・多角的に考察し、自分の考えをまとめるなど、思考・判断したことをまとめたり伝え合ったりする学習活動を重視した指導の充実が図られていることが挙げられる。

今後も、資料を適切に収集、活用し、資料をもとに社会的事象について説明したり、議論したりする力の育成を図ることが重要である。なお、地図帳や地球儀、統計などの基礎的資料を通して、情報を効果的に調べ、白地図や年表、図表などに適切にまとめる技能については、系統性に留意して計画的に指導していくことが大切である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「国土の自然環境などの様子」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、季節風についての理解に課題が見られた。我が国の地形や気候の特色について、季節風、積雪、台風などの事象と関連付け、知識の定着を図ることが大切である。
- 「農業や水産業」及び「工業生産」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。その理由として、米の生産量の多い都道府県や、品種改良の工夫、水揚げされた魚の出荷作業、自動車の製造工程や安全性の高い自動車づくりなどについて、資料をもとに考えさせる指導の充実が図られていることが挙げられる。
- 「産業と情報との関わり」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。その理由として、情報の発信と受信の注意点や、販売業における消費者に関する情報の活用について、生活と関連付けて考えさせる指導の充実が図られていることが考えられる。
- 「日本の政治」では、日本国憲法の原則である基本的人権の尊重についての理解に課題が見られた。日本国憲法の理念について押さえるとともに、学習した用語を用いて文章にまとめたり、発表したりする活動を通して確実な定着を図りたい。
- 「日本の歴史」では、弥生時代についての理解をもとに、資料について判断することや、年表や資料をもとに戦国大名の業績や江戸幕府の政策について判断することなどに課題が見られた。一つ一つの事象の内容について理解を深めさせるとともに、事象相互の関連をとらえ、その時代の社会の特徴を見いださせるよう指導することが大切である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 72.6%、活用問題は 68.0%となっており、参考値との差は、それぞれ、 -0.5 ポイント、 $+3.3$ ポイントとなっている。

活用問題の本市正答率が参考値を上回っている理由として、日常の事象や算数の学習場面から問題を見だし、解決する学習活動の充実が図られていることが挙げられる。

今後も、具体的な問題解決の場面で、学習した内容を活用して問題を解決する活動を工夫し、解決の方法を数学的な表現を用いて説明することを通して、事象を数学的に表現したり、処理したりする技能を高めるよう指導することが重要である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「数と計算」では、分数の計算や、文字を使って二つの数量の関係を一つの式に表すことなどに課題が見られた。分数の計算については、数の仕組みや計算の意味に基づいて考えさせることが大切である。また、二つの数量の関係を一つの式に表す際には、一つの文字で考えさせてから二つの文字で考えさせるなどし、文字を使った式について習熟させたい。
- 「図形」では、複雑な立体の体積の求め方の理解などに課題が見られた。複合図形の体積については、既習事項を生かして考えさせ、全体を複数の立方体や直方体に分割して求める方法と、全体から部分を引いて求める方法があることに気付かせることが大切である。その上で、それぞれの方法での計算の仕方を説明したり、式に表したりするなど、式や図を関連させて面積や体積の求め方を考えることで理解を深めさせたい。
- 「変化と関係」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。その理由として、単位量あたりの大きさ・速さに関し、数量の関係を数直線で表したり、自分が解決した方法について筋道を立てて説明する活動を取り入れたりするなどの指導の充実が図られていることが挙げられる。
- 「データの活用」では、ヒストグラムの特徴をもとに説明することに課題が見られた。身近な事柄についてのデータを度数分布表やヒストグラムに表し、データの特徴や傾向をとらえ判断し、その判断の理由を表現できるように指導することが大切である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 72.4%、活用問題は 60.9%となっており、参考値との差は、それぞれ、+1.8 ポイント、+0.6 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、身近な自然に親しみ、自然の事物・現象に対する概念や原理・法則についての理解を促す学習活動の充実が図られていることが挙げられる。

今後も、理科の見方・考え方を働かせて自然の事物・現象についてとらえ、予想や仮説をもとに観察、実験などを行い、結果を整理し、その結果をもとに結論を導き、新たな問題を見いだすといった学習活動を重視し、科学的に問題を解決する力を高められるよう指導することが大切である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「物質・エネルギー」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、水溶液の見分け方についての理解に課題が見られた。水溶液について、水に溶けている物に着目させ、溶けているものによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる活動を通して指導することが大切である。実験結果を児童の言葉でまとめさせることで、それぞれの水溶液の性質や区別の仕方について理解を深めさせたい。
- 「生命・地球」では、植物の葉からでんぷんがなくなるのはいつかを考えることに課題が見られた。日光にあてなかった葉をヨウ素液につける実験を行う意味について十分に理解させることが大切である。調べたい事柄を確かめるためにはどのような実験を行えばよいか、児童に実験計画を考えさせる活動に取り組みさせることも重要である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 79.7%、活用問題は 65.7%となっており、参考値との差は、それぞれ、+6.6 ポイント、+10.5 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、日常の言語活動の中で、言葉による見方・考え方を働かせ、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成を重視した指導の成果が表れていることが考えられる。

今後、さまざまな場面において多様な言語活動に取り組みせるとともに、自分の考えと、その根拠となる事柄との関係を明確にしたり、場の状況に応じて表現を工夫したりするなど、多様な考えをもった聞き手がいることを踏まえて表現できるように指導することが重要である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、類義語についての理解に課題が見られた。類義語と対義語、同音異義語、同訓異字、熟語の組み立て、四字熟語などについて、機をとらえて話や文章の中で使うよう指導することで、語句についての理解を深めさせることが大切である。
- 「情報の扱い方に関する事項」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。その理由として、複数のテキストから情報を読み取り、情報と情報との関係をとらえ、内容を図式化して整理することを重視した指導の充実が図られていると考えられる。
- 「我が国の言語文化に関する事項」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。現代語訳と対照しながら古文を読み、内容について理解する力が身に付いており、古典の世界に親しむことを重視した指導の充実が図られていると考えられる。
- 「話すこと・聞くこと」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、自分の考えを明確にし、論理の展開を考えて話す内容をまとめることにやや課題が見られた。話すこと・聞くことに関する活動において、話の要点をとらえたり、根拠の適切さを判断したりするなど注意深く聞くことや、自分の意見を述べる際に自分の立場や考えを明確にするために、聞き手を意識し、根拠の適切さや話す事柄の順序を検討することを意識させる指導を継続したい。
- 「書くこと」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫して書くことに課題が見られた。説得力のある文章を書くためには、考えの根拠となる事柄を具体的に示すことが大切である。根拠が確かな事実や事柄に基づき、自分の考えを支えるものであることを検討するよう指導することが重要である。
- 「読むこと」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、説明的な文章を読み、論理の展開を把握することに課題が見られた。話題は何か、書き手は話題をどのようにとらえているか、主張は何か、主張と根拠の関係は適切か、根拠は確かなものであるかなどに注意して読むよう指導することが大切である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 67.1%、活用問題は 58.0%となっており、参考値との差は、それぞれ、+6.0 ポイント、+7.9 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、さまざまな資料を活用して、社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現することを重視した指導の充実が図られていることが考えられる。

今後も、生徒が社会的事象に関心をもち、さまざまな資料を的確に読み取ったり、資料をもとに説明したりするなど、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりする学習場面を工夫した指導を行うことが重要である。なお、社会的事象に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめる技能については、系統性に留意して計画的に指導していくことが大切である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「地理的分野」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、日本の資源の輸入先についての理解をもとに判断することに課題が見られた。石油、石炭、鉄鉱石などの、工業生産に不可欠な鉱産資源については、産出国を押さえ、世界地図でその位置を確認させるなどして理解を深めさせたい。
- 「歴史的分野」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、中国文明の発展について考察することや、江戸時代の対外関係についての理解に課題が見られた。世界の古代文明については、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展などの共通する特色に気付かせるように指導する必要がある。また、江戸幕府の対外政策の内容や変化については、異国や異民族との交易や交流について、地図を活用し地理的な位置を確認することが大切である。
- 「公民的分野」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、物事の採決の仕方について判断することに課題が見られた。現代社会におけるさまざまな課題に関心をもち、課題解決のための取組を理解し、主体的に社会に関わろうとする態度を養うことが重要である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 75.9%，活用問題は 64.6%となっており、参考値との差は、それぞれ、+5.7ポイント、+16.9ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、数量の関係を式で表したり、式の意味を読み取ったりすることや、数量や図形などに関する問題場面において、判断の根拠などを数学的に表現する力をはぐくむことを重視した数学的活動の充実が図られていることが挙げられる。

今後、数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができるように指導するとともに、数学的な問題解決の過程で、事象を数学的に表現し、構想や見通しを立て、試行錯誤により解決し、結果を導くのみでなく、結果の妥当性について検討する力を高めるよう指導することが重要である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「数と式」では、乗法公式を用いて式を簡単にすることなどに課題が見られた。乗法公式を用いた式の展開や因数分解については、既習の単項式と多項式の乗法と関連付けて考察することで、公式のもつ意味を理解し、数の計算と関連付けて、そのよさを実感できるように指導することが大切である。
- 「図形」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。図形の基本的な性質や面積の求め方など、基礎的な知識・技能の定着を図るとともに、図形の性質の証明において、根拠を明らかにし、論理的に考え表現する力を高める指導の充実が図られていると考えられる。
- 「関数」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、比例の式をもとに x と y の関係を判断することに課題が見られた。身の回りの事象を取り上げ、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現する活動を通して、比例や反比例などの特徴を見だし、関数関係の理解を深めさせることが大切である。
- 「データの活用」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、箱ひげ図や表をもとに四分位範囲を求めることや、箱ひげ図をもとに結論を数学的に説明することに課題が見られた。データの特徴をとらえたり、代表値やデータの分布の様子を読み取ったりすることは、統計的な問題解決の方法の基礎となる。身の回りの事象についてデータを収集し、図や表に適切に表現し、データの分布の傾向を読み取り、それをもとに説明するという一連の活動が大切である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 68.0%、活用問題は 64.5%となっており、参考値との差は、それぞれ、+4.3 ポイント、+9.6 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、観察、実験などの結果を理科の見方・考え方を働かせ、整理、分析して解釈し、特徴や規則性を見いだして表現する活動を重視した指導の充実が図られていることが挙げられる。

今後も、身の回りの自然の事物・現象への関心を高めるとともに、科学に関する基本的な概念や原理・法則についての理解を深め、比較したり、関連付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて検討する活動を通して、思考力・判断力・表現力等を高めるよう指導することが大切である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「エネルギー」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、電子コピー機の粉末インクが、帯電していない部分以外に付着しない理由を説明することに課題が見られた。静電気の性質や、電流が電子の流れに関係していることについて、身の回りの事象を例に理解を深めさせることが大切である。
- 「粒子」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、質量パーセント濃度を求める式についての理解や、中和についての理解などに課題が見られた。濃度の意味についての理解を深めさせることや、中和について水溶液中のイオンをモデルで示して視覚的にイメージしやすいように工夫することが重要である。
- 「生命」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、遺伝の規則性と遺伝子についての理解に課題が見られた。遺伝の規則性については、交配実験の結果をもとに生徒に規則性を見いださせる活動などを工夫し、理解を深めさせることが大切である。また、核、染色体、DNA、遺伝子などの用語については、それらの働きを整理した形で示し、知識の定着を図りたい。
- 「地球」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、等圧線についての理解に課題が見られた。白地図に観測データをかき込み、実際に等圧線をかき作業に取り組みさせるなど指導を工夫し、観測記録から分析して解釈させることで、等圧線についての理解を深めさせることが大切である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 65.6%，活用問題は 56.5%となっており、参考値との差は、それぞれ、+5.4 ポイント、+8.8 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、日常的な話題や社会的な話題について、目的や場面を意識したコミュニケーション活動の中で、学習した表現を用いて伝え合う力を高めることを重視した指導の充実が図られていることが挙げられる。

今後も、生徒が外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、情報や考えなどを的確に理解したり、自分の考えや気持ちを適切に表現したりする力を身に付けられるよう、適切な課題を設定するなど、言語活動の内容を一層工夫することが大切である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「聞くこと」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、映画の上映時間についての英文を聞き、英文に合致した情報を選ぶことや、英文を聞き、その要点をとらえて自分の考えを書くことに課題が見られた。聞く前に、絵の内容を踏まえて何を聞き取ればよいか推測させたり、名前や日付、時間、数字などのキーワードに注目させながら聞かせたりするなどの指導が有効である。また、聞き取れなかった箇所について、スクリプトを確認させたり、聞けなかった箇所を意識しながら音読させたりしてから、再度聞かせることで、理解を深めさせることが大切である。
- 「読むこと」では、対話文を読み、文構造や文法事項についての理解をもとに言語材料を正しく選択することや、対話の流れと資料から必要な情報を把握して適切なグラフを選ぶことなどに課題が見られた。文構造や文法事項の定着を図るためには、繰り返し言語材料に触れることができるよう、段階的・継続的に指導することが大切である。また、対話文と資料をもとに読み取る際には、英文と資料の内容を照らし合わせ情報を整理することが必要なため、特に資料について述べている対話部分に注目し確認させる必要がある。対話文の読み取りでは、状況や関係性、話題などを把握した上で、内容理解につなげることが有効である。
- 「書くこと」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、文の語順を理解し、正確に書くことや、対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書くことなどに課題が見られた。「書くこと」においては、書く活動の前に、実際にやり取りするなどしながら使い慣れることが、書く内容の整理や用法等の理解につながることから、音声面での指導と関連させることが有効である。また、書き表したものをペアやグループで読み合い、言語面や内容面での気づきをもとに推敲するなど、読むことと書くことを関連付けた段階的な指導の工夫が効果的である。

学習と生活についてのアンケート

実施結果報告

3. 「学習と生活についてのアンケート」結果の状況

(1) 設問別肯定的回答率一覧

1) 学習について

(単位：%)

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小全体	中全体	小中全体
① 教科の好き嫌い、将来への役立ち感												
勉強が好きですか。	86.4	79.0	77.7	68.9	62.0	54.9	41.2	38.3	36.7	71.5	38.7	60.6
学校の授業がどの程度分かりますか。	—	—	92.1	92.5	91.3	92.1	82.9	79.3	80.0	92.0	80.7	87.2
次の教科などの学習は、好きですか。												
国語	75.5	67.4	69.0	70.5	64.2	59.0	64.0	62.7	68.0	67.6	64.9	66.7
社会	—	—	61.0	57.8	57.9	66.8	63.9	67.3	71.9	60.9	67.7	63.8
算数(数学)	74.8	68.0	74.9	66.3	59.1	59.6	56.9	52.7	51.5	67.1	53.7	62.6
理科	—	—	90.7	89.5	78.0	67.8	71.0	70.7	64.0	81.5	68.6	76.0
音楽	87.4	85.6	84.8	80.8	76.1	75.9	75.5	76.5	75.5	81.8	75.8	79.8
図工(美術)	93.3	92.6	92.4	89.8	88.7	83.4	75.9	76.8	74.0	90.0	75.6	85.2
体育(保健体育)	91.2	91.2	91.7	89.3	87.1	82.4	78.3	79.1	79.7	88.8	79.1	85.6
家庭(技術・家庭)	—	—	—	—	88.1	79.0	74.9	75.5	72.9	83.5	74.5	78.1
生活	90.0	94.3	—	—	—	—	—	—	—	92.1	—	—
英語	85.7	85.9	83.1	79.0	74.7	70.4	64.6	57.9	59.3	79.8	60.6	73.4
道徳	64.1	65.7	74.5	77.7	75.6	70.2	76.5	77.5	77.0	71.3	77.0	73.2
学級活動	85.9	86.6	88.7	90.0	89.1	88.1	88.2	89.1	87.4	88.1	88.2	88.1
総合的な学習の時間	—	—	80.3	83.6	81.5	79.4	81.5	84.2	81.7	81.2	82.4	81.7
次の教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか。												
国語	—	—	96.3	96.9	96.6	97.2	96.0	96.1	94.6	96.7	95.6	96.2
社会	—	—	94.3	93.0	93.2	89.7	82.4	81.5	87.3	92.6	83.7	88.8
算数(数学)	—	—	96.2	97.4	97.1	96.7	92.5	87.5	80.7	96.8	86.9	92.6
理科	—	—	83.7	81.7	77.6	73.2	73.0	72.2	68.5	79.1	71.2	75.7
音楽	—	—	70.3	65.1	60.0	58.0	49.2	50.3	47.3	63.4	48.9	57.2
図工(美術)	—	—	72.5	69.9	66.3	65.0	46.8	47.5	43.8	68.4	46.0	58.8
体育(保健体育)	—	—	88.8	87.9	86.1	84.3	86.4	89.0	89.0	86.8	88.1	87.4
家庭(技術・家庭)	—	—	—	—	96.2	95.6	90.6	91.7	91.1	95.9	91.2	93.0
英語	—	—	93.2	92.9	93.3	92.9	90.9	90.5	90.0	93.1	90.5	92.0
道徳	—	—	89.4	92.6	91.8	93.4	93.2	93.1	93.1	91.8	93.1	92.4
学級活動	—	—	79.8	80.1	78.4	76.7	76.1	78.3	76.3	78.8	76.9	78.0
総合的な学習の時間	—	—	83.6	85.4	82.1	79.2	74.7	76.9	74.9	82.6	75.5	79.5

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小全体	中全体	小中全体
② 授業への取組について												
授業の始まりには席についている。	88.7	85.8	87.5	89.7	90.5	90.6	94.7	96.3	96.5	88.8	95.8	91.1
授業に必要な学習用具は忘れずに持ってきている。	88.8	88.3	89.2	90.2	89.9	90.4	92.1	94.9	96.0	89.5	94.3	91.1
先生からさされたら、へんじをしていますか。	90.1	89.2	—	—	—	—	—	—	—	89.6	—	—
先生や友だちの話を、最後まできちんと聞いている。	92.6	93.8	92.4	93.3	93.6	93.7	95.5	96.2	96.4	93.2	96.0	94.2
グループなどでの話合いに自分から進んで参加している。	85.1	80.7	79.4	80.0	77.5	77.1	80.2	82.8	84.7	80.0	82.6	80.8
自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	—	—	68.8	67.9	64.0	67.6	71.7	75.4	78.4	67.1	75.2	70.5
ものごとをいろいろな視点や立場から考えている。	—	—	75.9	73.9	74.2	76.0	77.8	80.6	84.1	75.0	80.9	77.5
授業を集中して受けている。	—	—	89.0	88.7	87.6	87.6	86.4	87.4	88.8	88.2	87.5	87.9
③ 学習に対する気持ちや態度について												
学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	87.2	78.7	81.6	78.9	76.7	74.5	70.4	68.7	78.4	79.6	72.5	77.2
将来の進路や職業についての希望を持って学習している。	—	—	81.8	80.0	76.0	74.5	64.0	67.0	76.6	78.1	69.2	74.3
学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	79.1	80.9	91.5	91.1	88.7	88.3	85.7	82.7	84.6	86.6	84.4	85.9
学習して、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい。	95.3	96.1	93.9	93.0	92.3	92.1	91.3	92.3	92.7	93.8	92.1	93.2
学習して身に付けた知識は、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う。	—	—	96.1	96.9	96.4	96.5	95.4	94.4	92.8	96.5	94.2	95.5
④ 学習の仕方について												
授業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている。	82.7	76.0	76.2	77.1	76.7	75.4	74.2	73.2	71.4	77.3	72.9	75.9
新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	84.2	75.4	66.8	57.4	51.7	51.2	52.9	55.2	63.9	64.5	57.4	62.1
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	—	—	73.0	68.7	63.7	64.9	62.6	61.7	68.5	67.6	64.3	66.2
本を利用して、学習に関する情報を得ている。	—	—	67.3	62.6	58.7	53.5	35.4	31.1	32.5	60.5	33.0	48.7
インターネットやパソコンを利用して、学習に関する情報を得ている。	—	—	75.5	80.4	85.6	89.1	83.4	82.1	85.2	82.7	83.6	83.1
インターネットを活用するとき、正しいかどうかよく考えて情報を得ており、また、責任を持って情報を発信している。	—	—	—	—	85.0	90.2	90.3	91.9	93.2	87.6	91.8	90.1
パソコンのキーボードを使って、文章を入力することができる。	—	—	75.3	87.5	93.5	96.7	98.2	98.4	98.2	88.2	98.3	92.5
調べたことをパソコンを使ってまとめることができる。	—	—	72.1	83.7	90.7	93.2	94.4	94.9	94.7	84.9	94.7	89.1
パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる。	—	—	69.2	76.4	83.6	87.0	88.0	89.1	89.7	79.1	88.9	83.3

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小全体	中全体	小中全体
⑤ 家庭での学習について												
学校から、家庭学習に必要な教科書などの学習用具を持ち帰っている。	94.7	92.2	89.5	89.7	88.1	88.5	87.7	86.1	87.7	90.5	87.2	89.4
宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	96.2	94.9	88.2	87.2	85.3	86.8	80.9	81.7	83.5	89.8	82.0	87.2
授業で習ったことを、その日のうちに復習している。	—	—	55.9	48.3	42.1	38.0	37.1	33.8	37.3	46.1	36.0	41.8
自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。	—	—	64.5	62.4	61.5	61.0	55.6	54.3	63.9	62.4	57.9	60.5
テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	—	—	77.9	72.7	67.3	62.3	70.2	67.2	71.3	70.0	69.6	69.8
前の日のうちに、次の日の学校の用意をしている。	85.3	81.1	83.3	83.9	81.0	79.9	76.4	73.3	72.3	82.4	74.0	79.6
家の人は、あなたの学習に関心があり、必要な注意やアドバイスしてくれる。	—	—	88.6	89.2	87.4	86.4	83.9	83.6	82.0	87.9	83.2	85.9
平日の学習時間(塾や家庭教師も含む)(平均値)	46分	44分	51分	51分	58分	1時間4分	1時間11分	1時間12分	2時間19分	52分	1時間34分	1時間6分
休日の学習時間(塾や家庭教師も含む)(平均値)	34分	32分	40分	41分	48分	55分	1時間14分	1時間13分	2時間41分	42分	1時間43分	1時間2分
⑥ 世の中のことへの興味・関心について												
社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めることがある。	—	—	67.1	68.9	65.4	66.9	60.3	62.4	66.0	67.1	62.9	65.3
社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	—	—	74.2	75.4	69.8	69.7	64.3	63.1	67.3	72.3	64.9	69.1
ふだんから、「ふしぎだな」「なぜだろう」と感じることもある。	67.0	59.9	85.6	86.9	86.0	85.2	82.9	82.9	82.0	78.4	82.6	79.8
地域のお祭りに進んで参加したり、コンサートや演劇、絵画を鑑賞したりするなど、文化や芸術に触れる機会がある。	—	—	73.4	69.2	67.9	63.5	60.0	57.5	51.8	68.5	56.4	63.3
様々な人の生き方に感動することがある。	—	—	70.0	69.3	72.3	72.6	72.8	75.4	76.5	71.1	74.9	72.7
いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。	91.7	90.8	83.4	82.5	76.2	72.2	67.0	69.4	69.8	82.8	68.7	78.1

2) 生活について

(単位：%)

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小全体	中全体	小中全体
① 毎日の生活について												
家の人にあいさつをしていますか。	90.6	89.5	91.0	92.7	93.0	93.3	94.0	94.7	94.0	91.7	94.2	92.5
学校で、先生や友だちなどにあいさつをしていますか。	90.0	89.6	90.3	92.5	93.0	94.6	97.3	97.4	97.5	91.7	97.4	93.6
地域で、知っている人などにあいさつをしていますか。	79.8	79.1	82.2	82.6	82.7	84.7	84.6	85.1	83.9	81.9	84.5	82.7
学校生活に満足していますか。	90.1	90.7	86.4	85.8	86.7	89.0	88.4	89.1	89.5	88.1	89.0	88.4
学校のきまりやマナーを守っていますか。	91.4	90.7	92.1	91.9	91.3	91.5	93.8	95.4	96.3	91.5	95.2	92.7
社会生活のルールや公共の場所でのマナーを守っていますか。	—	—	94.7	96.7	97.5	98.0	98.7	98.7	98.8	96.8	98.7	97.6
平日、1日に本を読む時間(教科書やまんがはのぞく)(平均値)	33分	29分	28分	26分	24分	20分	18分	18分	16分	27分	17分	24分
休日、1日に本を読む時間(教科書やまんがはのぞく)(平均値)	29分	26分	26分	25分	23分	20分	15分	15分	13分	25分	14分	21分
平日、1日に「テレビ」、「タブレットやパソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりする時間(平均値)	57分	1時間7分	1時間17分	1時間29分	1時間36分	1時間45分	1時間40分	1時間43分	1時間34分	1時間22分	1時間39分	1時間28分
休日、1日に「テレビ」、「タブレットやパソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりする時間(平均値)	1時間8分	1時間24分	1時間36分	1時間51分	2時間4分	2時間10分	2時間17分	2時間19分	2時間9分	1時間42分	2時間15分	1時間53分
平日に寝る時刻(平均値)	9時3分	9時9分	9時12分	9時24分	9時41分	9時59分	10時33分	10時54分	11時33分	9時25分	11時	9時56分
平日に起きる時刻(平均値)	6時8分	6時18分	6時18分	6時21分	6時25分	6時25分	6時28分	6時35分	6時43分	6時19分	6時35分	6時25分
② 自分自身のことについて												
将来の夢や目標を持っている。	89.3	88.7	89.3	87.1	82.8	80.8	70.4	69.5	73.9	86.3	71.3	81.3
自分のよさを人のために生かしたいと思う。	88.9	85.2	86.9	85.0	86.4	87.6	85.9	88.0	88.7	86.6	87.5	86.9
自分で決めたことは最後まで努力している。	92.4	90.2	84.3	83.2	84.1	84.4	82.0	85.9	85.3	86.5	84.4	85.8
自分やみんなのためになることは、がんばってやろうとしている。	—	—	87.6	87.9	89.3	89.0	90.5	92.5	92.2	88.5	91.8	89.9
学校での役割や係の仕事に責任を持って取り組んでいる。	—	—	90.0	90.0	90.8	90.1	92.4	93.3	93.0	90.2	92.9	91.4
助け合ったり協力し合ったりすることは大切だと思う。	97.9	98.5	96.8	97.4	98.0	98.2	98.1	98.4	98.2	97.8	98.2	98.0
働くことや人のために役立つことは大切だと思う。	97.5	98.6	97.2	97.7	97.8	97.6	98.1	98.4	98.2	97.7	98.2	97.9
時と場に応じたことばづかいに気をつけている。	88.1	84.6	86.6	85.9	84.1	82.8	94.3	96.3	96.4	85.3	95.7	88.8
あいさつや返事をするのは、必要だと思う。	98.0	98.2	97.3	97.5	97.4	97.6	98.8	98.9	98.6	97.7	98.8	98.0
学校のきまりやマナーを守ることが大切だと思う。	98.0	98.7	97.4	97.8	97.4	97.4	97.7	97.9	98.2	97.8	97.9	97.8
友だちの人権や気持ちを考えて行動している。	—	—	92.4	92.9	93.4	95.0	95.6	96.9	96.7	93.4	96.4	94.7
誰に対しても、思いやりの心を持って接している。	94.2	90.2	89.6	88.4	89.1	88.8	90.5	93.8	92.4	90.1	92.2	90.8
命は、何よりも大切であると思う。	98.2	98.8	98.0	97.6	97.5	97.1	97.0	97.2	96.1	97.9	96.8	97.5
お年寄りに感謝の気持ちを持っている。	96.1	96.8	95.1	94.3	93.1	92.0	89.9	89.5	88.5	94.6	89.3	92.8
お年寄りの役に立ちたいと思う。	94.5	95.4	92.2	92.0	90.7	88.6	86.2	85.8	83.1	92.2	85.0	89.8
今の生活や将来に、なやみや不安がある。	—	—	51.5	48.1	41.8	44.8	52.4	53.2	61.5	46.6	55.7	50.5
中学校の学習や生活が楽しみである。	—	—	—	—	73.6	77.1	—	—	—	75.3	—	—
宇都宮市の「よさ」を紹介することができる。	—	—	72.8	76.6	77.7	77.8	70.4	70.7	69.7	76.2	70.3	73.7
他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。	—	—	83.8	83.7	75.5	82.6	82.2	85.0	86.3	81.4	84.5	82.7

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小全体	中全体	小中全体
③ 友だちのことについて												
困っている友だちに、自分から進んで手助けをしている。	92.1	90.3	91.7	91.7	92.1	91.1	93.0	93.3	93.5	91.5	93.3	92.1
自分の気持ちを理解し、なやみごとなどを相談できる友だちがいる。	—	—	88.3	87.4	85.7	86.4	86.2	88.4	88.7	87.0	87.8	87.3
友だちから、親切にされたことがある。	92.2	94.4	93.6	94.9	95.9	97.4	98.3	98.2	98.5	94.7	98.3	95.9
友だちといっしょに過ごすことは楽しい。	97.6	98.5	96.9	97.0	97.7	97.8	98.2	98.5	98.1	97.6	98.3	97.8
人の悪口を言ったり無視したりすることはいけな いと思う。	96.9	98.0	96.8	96.7	97.0	95.9	96.4	96.2	95.4	96.9	96.0	96.6
④ 家の人や先生について												
なやみごとなどを相談できる大人(家の人や先生 など)がいる。	93.6	94.3	93.6	93.1	92.1	90.3	87.4	87.5	87.5	92.8	87.5	91.0
学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて 家の人と話すことがある。	—	—	78.8	76.9	75.8	76.1	73.0	80.2	82.5	76.9	78.6	77.6
家の人といっしょに過ごすことは楽しい。	97.4	97.4	96.3	96.1	94.0	93.0	90.3	89.7	88.0	95.7	89.4	93.6
学習や運動、文化・芸術活動などで、自分が立て た目標を達成できるように家の人が応援してくれ る。	—	—	90.3	91.6	91.2	92.0	91.4	92.4	92.3	91.3	92.1	91.6
家の人は、自分のよいところやがんばったことを 認めてくれる。	—	—	93.8	94.2	93.9	94.0	91.6	92.1	90.7	94.0	91.5	92.9
先生は、自分のよいところやがんばったことを認 めてくれる。	—	—	94.5	93.6	92.8	93.1	92.9	93.0	92.8	93.5	92.9	93.2
いえの人は、あいさつやへんじをすることの大せ つさをおしえてくれますか。	85.5	85.8	—	—	—	—	—	—	—	85.7	—	—
家の人は、あなたの生活態度に関心があり、必要 な注意やアドバイスをしてくれる。	—	—	91.6	92.0	93.0	93.1	93.1	93.2	91.4	92.4	92.5	92.5
⑤ 家での過ごし方について												
本や新聞を読んでいる。	71.6	66.1	60.3	56.3	48.5	42.5	34.4	30.6	29.2	57.5	31.4	48.8
家の手伝いをしている。	88.5	82.5	76.9	78.5	77.6	75.2	71.5	71.8	69.3	79.9	70.9	76.9
朝、自分で起きることができる。	60.2	56.6	65.0	65.5	65.8	68.3	71.4	71.2	71.2	63.6	71.2	66.1
夜は決まった時間に寝ている。	73.3	67.4	68.7	64.7	62.2	60.2	58.7	59.3	59.7	66.1	59.2	63.8
地域での活動(子ども会や育成会の行事など)に 参加している。	69.1	66.3	63.7	56.9	56.2	51.6	35.6	28.1	23.0	60.6	28.9	50.1
⑥ スマートフォンや携帯電話について												
自分のスマートフォンや携帯電話を持っています か。	28.2	31.0	40.4	52.2	61.0	72.8	90.0	92.5	92.2	47.6	91.5	62.2
見てはいけないサイトにつながらなくなるように、 フィルタリングをしたり、キッズケータイ [®] を使ったり している。	71.2	67.0	64.7	69.4	73.2	73.6	77.1	73.0	65.7	69.9	72.0	70.6
スマートフォンや携帯電話を使うときのルールを、 家の人と決めている。	75.8	79.8	77.8	81.2	82.6	81.4	82.1	78.6	70.9	79.8	77.2	78.9
名前や顔写真、電話番号、メールアドレスなどの 個人情報を、誰でも見られるサイトやSNSに書 き込まないようにしている。	83.4	88.0	86.9	91.5	94.3	95.6	96.6	96.3	95.9	89.9	96.3	92.1
平日、1日にスマートフォンや携帯電話で電話や ゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見 たり、SNSを利用したりする時間(平均値)	51分	1時間 5分	1時間 7分	1時間 19分	1時間 27分	1時間 44分	2時間 1分	2時間 9分	2時間 4分	1時間 16分	2時間 5分	1時間 32分
平日の夜、スマートフォンや携帯電話の使用終了 時刻(平均値)	8時2分	8時11分	8時17分	8時32分	8時47分	9時12分	9時51分	10時17分	10時45分	8時30分	10時18分	9時6分
休日、1日にスマートフォンや携帯電話で電話や ゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見 たり、SNSを利用したりする時間(平均値)	58分	1時間 16分	1時間 19分	1時間 33分	1時間 43分	2時間	2時間 32分	2時間 42分	2時間 36分	1時間 28分	2時間 37分	1時間 51分
休日の夜、スマートフォンや携帯電話の使用終了 時刻(平均値)	8時8分	8時16分	8時24分	8時41分	8時59分	9時22分	10時3分	10時27分	10時51分	8時38分	10時27分	9時15分
家の人はあなたがスマートフォンや携帯電話をど のように使っているかチェックしていますか。	73.6	69.3	74.6	71.3	73.8	71.8	73.1	65.5	55.7	72.4	64.8	69.8
LINE [®] やInstagram [®] などのSNSでうまく思いが 伝わらず、嫌な思いをしたり、相手に嫌な思いをさ せてしまったりしたことはありませんか。	79.0	86.8	83.9	87.0	86.3	80.7	81.5	83.0	81.5	83.9	82.0	83.3

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小全体	中全体	小中全体
⑦ 体力について												
運動をすることは大切だと思う。	97.6	97.8	97.3	97.4	97.8	97.6	98.0	98.4	98.0	97.6	98.1	97.8
休み時間や放課後、休日などに、自分から進んで運動をするようにしている。	77.6	76.1	78.4	78.4	74.4	65.5	65.0	66.5	55.9	75.1	62.5	70.9
健康や体力に自信があると思う。	89.3	83.7	80.7	76.1	68.7	62.2	58.9	59.1	55.0	76.8	57.7	70.4
⑧ 健康や食事について												
早寝、早起きを心がけている。	75.8	72.0	81.3	78.9	74.3	69.8	65.6	64.5	60.2	75.4	63.4	71.4
健康診断で指摘されたところは、早めに治療している。	—	—	—	—	87.4	88.3	88.4	88.8	88.3	87.8	88.5	88.2
歯みがきをしていますか。	95.2	96.4	97.0	97.9	98.6	98.9	98.5	98.6	98.6	97.3	98.6	97.7
毎日、朝食を食べていますか。	95.7	95.6	95.1	94.9	94.1	93.6	92.6	92.6	91.1	94.8	92.1	93.9
好ききらいをしないで食べていますか。(きらいなものでも1口は食べている。)	87.2	87.1	83.5	86.6	86.9	85.9	85.8	86.1	86.4	86.2	86.1	86.2
朝食は家の人といっしょに食べている。	73.2	67.7	72.6	71.6	67.9	64.4	59.8	57.0	54.4	69.6	57.1	65.4
夕食は家の人といっしょに食べている。	93.0	92.6	92.8	93.3	93.2	91.6	90.7	88.0	82.8	92.8	87.2	90.9
食事のときには、「いただきます」「ごちそうさま」を言っている。	90.2	90.0	92.7	94.0	93.8	93.7	93.4	94.1	93.8	92.4	93.8	92.8
食事のマナー(おはしの使い方、姿勢など)に気をつけて食べている。	89.1	87.1	89.2	90.8	89.3	89.4	90.5	93.0	92.8	89.2	92.1	90.1
食事のマナー(おはしの使い方、姿勢など)を守って食べることは大切だと思う。	97.1	97.2	96.2	96.9	96.8	96.7	96.7	97.5	97.0	96.8	97.1	96.9
3食きちんと食べることは大切だと思う。	98.3	98.5	96.7	97.5	96.8	97.2	97.2	97.5	96.8	97.5	97.2	97.4
栄養バランスを考えて食べることは大切だと思う。	—	—	96.5	97.6	97.3	97.8	97.8	98.3	97.7	97.3	97.9	97.6
食品に表示されている原材料や消費期限などについて関心がある。	—	—	—	—	85.3	84.5	80.1	79.2	80.6	84.9	80.0	81.9
食品の品質や安全性を考えて、食材を選んでいる。	—	—	—	—	85.8	85.7	85.0	83.5	82.8	85.8	83.8	84.6
お正月に食べるおせちなどの行事食(季節の行事やお祝いの日に食べる料理)や、しもつかれなどの郷土料理を知っている。	—	—	—	—	87.2	91.6	89.9	91.1	91.1	89.4	90.7	90.2
地域で生産された野菜や果物などを、選んで食べることは大切だと思う。	95.1	95.6	93.4	91.8	89.0	88.3	83.4	85.1	85.1	92.2	84.5	89.6
家の人は、あなたの食生活に関心があり、朝食をしっかりと食べることなど、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	—	—	89.1	88.4	88.2	88.9	86.6	86.1	83.9	88.7	85.5	87.3
20歳未満は、飲酒してはいけないと思う。	93.9	97.0	96.5	97.5	97.7	97.3	97.9	97.7	97.3	96.6	97.6	97.0
健康のため、たばこはすうべきではないと思う。	94.9	97.1	96.0	97.6	98.2	96.9	98.0	97.6	97.3	96.8	97.7	97.1
麻薬、覚せい剤など薬物は使ってはいけないと思う。	—	—	—	—	98.7	98.5	98.9	98.8	98.5	98.6	98.7	98.7
性について学ぶことは大切だと思う。	—	—	86.5	84.2	92.0	87.6	90.1	92.5	95.6	87.6	92.7	89.8
⑨ 安全について												
交通事故にあわないよう、交通ルールを守っている。	98.5	98.4	97.8	98.3	98.2	97.9	98.7	98.9	98.4	98.2	98.7	98.4
不審者から自分の安全を守るための行動を心がけている。	97.8	98.1	96.8	96.9	96.6	95.3	95.7	95.7	95.2	96.9	95.5	96.5
自分や身の周りの人々の安全に気を配り、安全に行動している。	97.6	97.9	95.0	95.1	96.6	95.8	97.3	97.4	97.3	96.3	97.3	96.7

(2) 設問のカテゴリー別に見られる傾向

1) 学習について

① 教科の好き嫌い、将来への役立ち感

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
勉強が好きですか。	今年度	86.4	79.0	77.7	68.9	62.0	54.9	41.2	38.3	36.7
	昨年度	86.6	81.9	76.7	71.5	60.5	59.4	41.2	37.3	40.4
学校の授業がどの程度分かりますか。	今年度	—	—	92.1	92.5	91.3	92.1	82.9	79.3	80.0
	昨年度	—	—	91.9	92.5	91.2	92.9	83.7	79.1	81.4
次の教科などの学習は、好きですか。										
国語	今年度	75.5	67.4	69.0	70.5	64.2	59.0	64.0	62.7	68.0
	昨年度	75.7	68.3	72.4	71.8	63.4	61.3	66.9	63.0	67.2
社会	今年度	—	—	61.0	57.8	57.9	66.8	63.9	67.3	71.9
	昨年度	—	—	62.4	58.6	59.4	69.6	67.1	65.5	72.3
算数(数学)	今年度	74.8	68.0	74.9	66.3	59.1	59.6	56.9	52.7	51.5
	昨年度	75.2	70.2	76.6	69.2	59.2	62.1	58.4	55.4	54.6
理科	今年度	—	—	90.7	89.5	78.0	67.8	71.0	70.7	64.0
	昨年度	—	—	90.5	89.3	77.7	70.2	71.1	66.5	68.4
音楽	今年度	87.4	85.6	84.8	80.8	76.1	75.9	75.5	76.5	75.5
	昨年度	89.1	85.8	86.1	83.1	79.0	76.3	77.9	74.4	76.6
図工(美術)	今年度	93.3	92.6	92.4	89.8	88.7	83.4	75.9	76.8	74.0
	昨年度	93.6	91.1	90.6	92.1	88.4	83.8	77.5	73.2	75.5
体育(保健体育)	今年度	91.2	91.2	91.7	89.3	87.1	82.4	78.3	79.1	79.7
	昨年度	92.1	90.9	91.1	89.8	87.2	82.3	78.7	77.1	82.7
家庭(技術・家庭)	今年度	—	—	—	—	88.1	79.0	74.9	75.5	72.9
	昨年度	—	—	—	—	87.1	81.0	75.7	75.3	74.3
生活	今年度	90.0	94.3	—	—	—	—	—	—	—
	昨年度	90.5	95.3	—	—	—	—	—	—	—
英語	今年度	85.7	85.9	83.1	79.0	74.7	70.4	64.6	57.9	59.3
	昨年度	88.9	85.7	85.0	80.2	72.9	72.3	66.0	58.8	59.0
道徳	今年度	64.1	65.7	74.5	77.7	75.6	70.2	76.5	77.5	77.0
	昨年度	67.3	68.8	77.0	78.4	73.9	72.8	75.8	74.0	78.0
学級活動	今年度	85.9	86.6	88.7	90.0	89.1	88.1	88.2	89.1	87.4
	昨年度	85.2	87.6	89.5	90.9	89.1	89.6	89.2	85.9	88.7
総合的な学習の時間	今年度	—	—	80.3	83.6	81.5	79.4	81.5	84.2	81.7
	昨年度	—	—	82.5	83.8	80.7	82.8	82.5	81.0	83.8

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
次の教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか。										
国語	今年度	—	—	96.3	96.9	96.6	97.2	96.0	96.1	94.6
	昨年度	—	—	96.2	97.5	97.1	97.7	96.0	95.0	94.8
社会	今年度	—	—	94.3	93.0	93.2	89.7	82.4	81.5	87.3
	昨年度	—	—	94.6	95.4	92.9	90.8	84.0	78.7	87.9
算数(数学)	今年度	—	—	96.2	97.4	97.1	96.7	92.5	87.5	80.7
	昨年度	—	—	96.4	97.3	96.8	96.7	92.2	84.6	80.5
理科	今年度	—	—	83.7	81.7	77.6	73.2	73.0	72.2	68.5
	昨年度	—	—	85.5	84.2	75.4	76.7	72.8	67.9	69.7
音楽	今年度	—	—	70.3	65.1	60.0	58.0	49.2	50.3	47.3
	昨年度	—	—	72.3	69.9	62.6	59.4	51.9	45.7	49.1
図工(美術)	今年度	—	—	72.5	69.9	66.3	65.0	46.8	47.5	43.8
	昨年度	—	—	76.1	74.3	67.0	65.7	50.0	43.0	45.1
体育(保健体育)	今年度	—	—	88.8	87.9	86.1	84.3	86.4	89.0	89.0
	昨年度	—	—	90.7	90.2	85.6	85.6	87.3	87.4	88.8
家庭(技術・家庭)	今年度	—	—	—	—	96.2	95.6	90.6	91.7	91.1
	昨年度	—	—	—	—	95.5	96.3	90.0	90.4	90.8
英語	今年度	—	—	93.2	92.9	93.3	92.9	90.9	90.5	90.0
	昨年度	—	—	93.4	94.4	93.2	93.1	93.2	90.4	91.0
道徳	今年度	—	—	89.4	92.6	91.8	93.4	93.2	93.1	93.1
	昨年度	—	—	90.6	93.2	92.7	93.4	93.3	91.2	93.2
学級活動	今年度	—	—	79.8	80.1	78.4	76.7	76.1	78.3	76.3
	昨年度	—	—	83.0	82.9	78.7	78.7	77.3	75.4	81.1
総合的な学習の時間	今年度	—	—	83.6	85.4	82.1	79.2	74.7	76.9	74.9
	昨年度	—	—	85.1	87.3	82.0	81.1	76.8	74.8	79.0

- 「学習内容定着度調査」の対象教科である算数(数学)、理科、英語を「とても好き」、「まあ好き」と肯定的に回答した割合は、小6と中3を比べると中3の方が3.8~11.1ポイント低くなっており、英語の差が最も大きい。
- 「学習内容定着度調査」の対象教科である国語、社会、算数(数学)、理科、英語では、「将来のために大切」の設問に肯定的に回答した割合は、小6と中3のすべての教科で、「とても好き」、「まあ好き」と肯定的に回答した割合よりも高くなっている。

② 授業への取組について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
授業の始まりには席についている。	今年度	88.7	85.8	87.5	89.7	90.5	90.6	94.7	96.3	96.5
	昨年度	89.2	87.1	87.5	90.0	90.2	91.7	95.9	95.4	96.3
授業に必要な学習用具は忘れずに持ってきている。	今年度	88.8	88.3	89.2	90.2	89.9	90.4	92.1	94.9	96.0
	昨年度	89.0	88.1	88.5	90.9	90.5	91.5	92.8	94.3	96.4
先生からさされたら、へんじをしていますか。	今年度	90.1	89.2	—	—	—	—	—	—	—
	昨年度	91.7	89.2	—	—	—	—	—	—	—
先生や友だちの話を、最後まできちんと聞いている。	今年度	92.6	93.8	92.4	93.3	93.6	93.7	95.5	96.2	96.4
	昨年度	93.5	94.1	92.8	93.3	93.5	94.0	95.3	95.0	96.6
グループなどでの話合いに自分から進んで参加している。	今年度	85.1	80.7	79.4	80.0	77.5	77.1	80.2	82.8	84.7
	昨年度	86.4	82.8	80.5	80.7	77.8	80.0	81.6	81.2	83.2
自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	今年度	—	—	68.8	67.9	64.0	67.6	71.7	75.4	78.4
	昨年度	—	—	70.3	69.3	63.3	68.4	70.9	72.6	78.3
ものごとをいろいろな視点や立場から考えている。	今年度	—	—	75.9	73.9	74.2	76.0	77.8	80.6	84.1
	昨年度	—	—	77.4	75.3	73.5	77.4	77.5	77.9	83.9
授業を集中して受けている。	今年度	—	—	89.0	88.7	87.6	87.6	86.4	87.4	88.8
	昨年度	—	—	88.5	89.4	87.2	89.1	87.3	86.1	89.3

- 話し方、聞き方の基本に関する「先生や友だちの話を、最後まできちんと聞いている」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で92%以上であり、小3以降では学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。
- 「グループなどでの話合いに自分から進んで参加している」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で77%以上である。
- 深い学びの視点に関する「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる」の設問に肯定的に回答した割合は、小5以降では学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。また、「ものごとをいろいろな視点や立場から考えている」の設問に肯定的に回答した割合は、小4以降では学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。

③ 学習に対する気持ちや態度について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	今年度	87.2	78.7	81.6	78.9	76.7	74.5	70.4	68.7	78.4
	昨年度	88.0	80.0	81.5	80.3	76.1	76.3	70.6	65.9	76.4
将来の進路や職業についての希望を持って学習している。	今年度	—	—	81.8	80.0	76.0	74.5	64.0	67.0	76.6
	昨年度	—	—	83.3	81.2	76.6	75.0	64.4	65.2	77.2
学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	今年度	79.1	80.9	91.5	91.1	88.7	88.3	85.7	82.7	84.6
	昨年度	80.4	82.0	92.1	91.2	89.3	89.9	86.0	82.6	85.9
学習して、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい。	今年度	95.3	96.1	93.9	93.0	92.3	92.1	91.3	92.3	92.7
	昨年度	95.3	96.0	94.1	94.0	91.9	92.7	92.1	90.5	93.0
学習して身に付けた知識は、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う。	今年度	—	—	96.1	96.9	96.4	96.5	95.4	94.4	92.8
	昨年度	—	—	96.4	97.5	96.1	96.8	95.4	92.8	92.5

- 「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では74%以上、中学校では68%以上である。
- 「学習して、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で91%以上である。
- 「学習して身に付けた知識は、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で92%以上である。

④ 学習の仕方について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
授業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている。	今年度	82.7	76.0	76.2	77.1	76.7	75.4	74.2	73.2	71.4
	昨年度	82.5	77.7	78.6	78.1	75.5	78.9	76.3	70.5	71.8
新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	今年度	84.2	75.4	66.8	57.4	51.7	51.2	52.9	55.2	63.9
	昨年度	82.5	79.0	65.4	59.4	52.0	52.9	56.2	52.2	65.7
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	今年度	—	—	73.0	68.7	63.7	64.9	62.6	61.7	68.5
	昨年度	—	—	75.1	69.3	62.3	67.1	62.8	57.7	70.0
本を利用して、学習に関する情報を得ている。	今年度	—	—	67.3	62.6	58.7	53.5	35.4	31.1	32.5
	昨年度	—	—	68.4	65.7	60.0	57.3	36.2	30.2	35.7
インターネットやパソコンを利用して、学習に関する情報を得ている。	今年度	—	—	75.5	80.4	85.6	89.1	83.4	82.1	85.2
	昨年度	—	—	76.2	81.8	85.3	90.7	80.6	77.1	83.9
インターネットを活用するとき、正しいかどうかよく考えて情報を得ており、また、責任を持って情報を発信している。	今年度	—	—	—	—	85.0	90.2	90.3	91.9	93.2
	昨年度	—	—	—	—	86.6	90.5	91.4	90.2	94.0
パソコンのキーボードを使って、文章を入力することができる。	今年度	—	—	75.3	87.5	93.5	96.7	98.2	98.4	98.2
	昨年度	—	—	75.3	88.7	93.9	97.3	97.9	98.0	98.0
調べたことをパソコンを使ってまとめることができる。	今年度	—	—	72.1	83.7	90.7	93.2	94.4	94.9	94.7
	昨年度	—	—	73.6	85.2	90.5	94.3	94.2	94.1	94.5
パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる。	今年度	—	—	69.2	76.4	83.6	87.0	88.0	89.1	89.7
	昨年度	—	—	71.1	78.1	83.6	89.0	86.8	87.0	89.3

- 「インターネットやパソコンを利用して、学習に関する情報を得ている」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で75%以上であり、小・中学校ともに最終学年の小6、中3が高い傾向にある。
- 「インターネットを活用するとき、正しいかどうかよく考えて情報を得ており、また、責任を持って情報を発信している」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で85%以上である。
- パソコンの活用に関する「パソコンのキーボードを使って、文章を入力することができる」、「調べたことをパソコンを使ってまとめることができる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では72%以上、中学校では94%以上である。また、「パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では69%以上、中学校では88%以上である。

⑤ 家庭での学習について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学校から、家庭学習に必要な教科書などの学習用具を持ち帰っている。	今年度	94.7	92.2	89.5	89.7	88.1	88.5	87.7	86.1	87.7
	昨年度	94.3	93.5	88.9	90.5	89.6	90.0	87.8	82.6	86.2
宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	今年度	96.2	94.9	88.2	87.2	85.3	86.8	80.9	81.7	83.5
	昨年度	95.7	95.7	88.5	88.3	86.7	87.0	81.2	81.1	82.6
授業で習ったことを、その日のうちに復習している。	今年度	—	—	55.9	48.3	42.1	38.0	37.1	33.8	37.3
	昨年度	—	—	55.3	50.9	42.3	38.8	40.0	32.0	37.6
自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。	今年度	—	—	64.5	62.4	61.5	61.0	55.6	54.3	63.9
	昨年度	—	—	66.1	65.2	60.3	62.7	56.5	49.5	62.5
テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	今年度	—	—	77.9	72.7	67.3	62.3	70.2	67.2	71.3
	昨年度	—	—	78.6	74.5	63.3	65.9	72.4	65.3	72.7
前の日のうちに、次の日の学校の用意をしている。	今年度	85.3	81.1	83.3	83.9	81.0	79.9	76.4	73.3	72.3
	昨年度	84.7	82.9	84.9	84.9	82.7	82.3	77.4	72.0	71.9
家の人は、あなたの学習に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	今年度	—	—	88.6	89.2	87.4	86.4	83.9	83.6	82.0
	昨年度	—	—	88.8	89.2	87.6	86.9	84.7	82.1	85.1
平日の学習時間(塾や家庭教師も含む) (平均値)	今年度	46分	44分	51分	51分	58分	1時間 4分	1時間 11分	1時間 12分	2時間 19分
	昨年度	44分	47分	48分	54分	58分	1時間 7分	1時間 13分	1時間 12分	2時間 19分
休日の学習時間(塾や家庭教師も含む) (平均値)	今年度	34分	32分	40分	41分	48分	55分	1時間 14分	1時間 13分	2時間 41分
	昨年度	34分	35分	39分	45分	49分	1時間	1時間 15分	1時間 14分	2時間 41分

○ 「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では61%以上、中学校では54%以上である。

○ 平日・休日の学習時間については、例年同様、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。小学校では休日より平日の学習時間が長く、中学校では平日より休日の学習時間が長い。

⑥ 世の中のことへの興味・関心について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めることがある。	今年度	—	—	67.1	68.9	65.4	66.9	60.3	62.4	66.0
	昨年度	—	—	69.7	71.5	65.3	66.7	60.1	58.6	68.9
社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	今年度	—	—	74.2	75.4	69.8	69.7	64.3	63.1	67.3
	昨年度	—	—	74.4	74.8	68.8	72.5	63.7	59.8	71.1
ふだんから、「ふしぎだな」「なぜだろう」と感じることもある。	今年度	67.0	59.9	85.6	86.9	86.0	85.2	82.9	82.9	82.0
	昨年度	64.7	61.9	86.8	88.2	86.6	87.7	83.5	80.7	85.3
地域のお祭りに進んで参加したり、コンサートや演劇、絵画を鑑賞したりするなど、文化や芸術に触れる機会がある。	今年度	—	—	73.4	69.2	67.9	63.5	60.0	57.5	51.8
	昨年度	—	—	72.9	69.4	66.3	64.3	59.1	54.5	56.5
さまざまな人の生き方に感動することがある。	今年度	—	—	70.0	69.3	72.3	72.6	72.8	75.4	76.5
	昨年度	—	—	72.2	72.6	73.6	76.6	75.2	73.6	80.2
いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。	今年度	91.7	90.8	83.4	82.5	76.2	72.2	67.0	69.4	69.8
	昨年度	92.8	91.4	85.4	83.7	77.2	75.2	72.5	68.9	74.0

- 社会の出来事への関心や態度に関する「社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めることがある」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では65%以上、中学校では60%以上である。また、「社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では69%以上、中学校では63%以上である。
- 「ふだんから、『ふしぎだな』『なぜだろう』とを感じることもある」の設問に肯定的に回答した割合は、小2と小3の間で25.7ポイント差と大きく増加している。
- 「地域のお祭りに進んで参加したり、コンサートや演劇、絵画を鑑賞したりするなど、文化や芸術に触れる機会がある」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では63%以上、中学校では51%以上であり、小3、小5、中1、中2では昨年度よりも増加している。

2) 生活について

① 毎日の生活について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
家の人にあいさつをしていますか。	今年度	90.6	89.5	91.0	92.7	93.0	93.3	94.0	94.7	94.0
	昨年度	89.9	90.7	91.6	93.4	93.5	94.0	94.4	93.4	94.6
学校で、先生や友だちなどにあいさつをしていますか。	今年度	90.0	89.6	90.3	92.5	93.0	94.6	97.3	97.4	97.5
	昨年度	90.7	91.4	90.7	91.9	92.8	95.2	97.3	97.0	97.3
地域で、知っている人などにあいさつをしていますか。	今年度	79.8	79.1	82.2	82.6	82.7	84.7	84.6	85.1	83.9
	昨年度	80.5	82.6	84.1	85.3	83.6	86.5	86.2	84.3	84.1
学校生活に満足していますか。	今年度	90.1	90.7	86.4	85.8	86.7	89.0	88.4	89.1	89.5
	昨年度	89.9	90.6	85.5	85.2	86.0	88.4	88.9	85.3	89.3
学校のきまりやマナーを守っていますか。	今年度	91.4	90.7	92.1	91.9	91.3	91.5	93.8	95.4	96.3
	昨年度	92.6	92.5	92.4	92.7	90.9	92.8	94.9	94.7	96.6
社会生活のルールや公共の場所でのマナーを守っていますか。	今年度	—	—	94.7	96.7	97.5	98.0	98.7	98.7	98.8
	昨年度	—	—	94.4	96.0	96.9	98.0	98.8	98.5	98.8
平日、1日に本を読む時間(教科書やまんがはのぞく)(平均値)	今年度	33分	29分	28分	26分	24分	20分	18分	18分	16分
	昨年度	32分	31分	28分	28分	24分	22分	20分	20分	19分
休日、1日に本を読む時間(教科書やまんがはのぞく)(平均値)	今年度	29分	26分	26分	25分	23分	20分	15分	15分	13分
	昨年度	29分	29分	28分	28分	24分	22分	17分	16分	14分
平日、1日に「テレビ」、「タブレットやパソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりする時間(平均値)	今年度	57分	1時間7分	1時間17分	1時間29分	1時間36分	1時間45分	1時間40分	1時間43分	1時間34分
	昨年度	56分	1時間5分	1時間16分	1時間27分	1時間37分	1時間46分	1時間41分	1時間41分	1時間34分
休日、1日に「テレビ」、「タブレットやパソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりする時間(平均値)	今年度	1時間8分	1時間24分	1時間36分	1時間51分	2時間4分	2時間10分	2時間17分	2時間19分	2時間9分
	昨年度	1時間8分	1時間21分	1時間35分	1時間51分	2時間5分	2時間14分	2時間19分	2時間19分	2時間8分
平日に寝る時刻(平均値)	今年度	9時3分	9時9分	9時12分	9時24分	9時41分	9時59分	10時33分	10時54分	11時33分
	昨年度	9時4分	9時4分	9時11分	9時25分	9時42分	9時58分	10時34分	11時0分	11時34分
平日に起きる時刻(平均値)	今年度	6時8分	6時18分	6時18分	6時21分	6時25分	6時25分	6時28分	6時35分	6時43分
	昨年度	6時8分	6時16分	6時17分	6時21分	6時25分	6時25分	6時28分	6時35分	6時43分

- あいさつに関する設問では、肯定的に回答した割合は、家の人、先生や友だちで 89%以上、地域で 79%以上である。特に、「学校で、先生や友だちなどにあいさつをしていますか」の設問に肯定的に回答した割合は、中学校では 97%以上である。
- きまりに関する設問では、学校のきまりやマナー、社会生活のルールや公共の場所でのマナーともに、肯定的に回答した割合は、すべての学年で 90%以上である。
- 平日・休日における 1 日の読書時間は 13 分～33 分であり、学年が上がるにつれて短くなる傾向が見られる。
- 1 日にテレビや動画を視聴したり、ゲームをしたりする時間は、小・中学校ともに、平日よりも休日で長く、小学校では平日、休日ともに学年が上がるにつれて長くなる傾向が見られる。
- 平日の就寝時刻は、学年が上がるにつれて遅くなり、特に、小 6 と中 1 の間、中 2 と中 3 の間で大きく変化している。すべての学年の中で、中 3 が午後 11 時 33 分と最も遅く、平日の起床時刻も、中 3 が午前 6 時 43 分と最も遅い。

② 自分自身のことについて

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
将来の夢や目標を持っている。	今年度	89.3	88.7	89.3	87.1	82.8	80.8	70.4	69.5	73.9
	昨年度	90.4	89.1	89.3	87.6	84.2	79.8	71.3	69.0	73.9
自分のよさを人のために生かしたいと思う。	今年度	88.9	85.2	86.9	85.0	86.4	87.6	85.9	88.0	88.7
	昨年度	87.9	85.8	86.8	84.1	86.1	87.3	85.9	85.2	88.8
自分で決めたことは最後まで努力している。	今年度	92.4	90.2	84.3	83.2	84.1	84.4	82.0	85.9	85.3
	昨年度	92.6	90.0	85.6	83.6	84.0	84.3	83.8	81.5	84.2
自分やみんなのためになることは、がんばってやろうとしている。	今年度	—	—	87.6	87.9	89.3	89.0	90.5	92.5	92.2
	昨年度	—	—	87.9	88.2	88.3	90.8	90.9	90.1	92.6
学校での役割や係の仕事に責任を持って取り組んでいる。	今年度	—	—	90.0	90.0	90.8	90.1	92.4	93.3	93.0
	昨年度	—	—	89.3	90.2	90.5	92.0	92.7	90.6	93.6
助け合ったり協力し合ったりすることは大切だと思う。	今年度	97.9	98.5	96.8	97.4	98.0	98.2	98.1	98.4	98.2
	昨年度	98.0	97.9	97.0	97.9	97.9	98.1	98.4	97.8	98.7
働くことや人のために役立つことは大切だと思う。	今年度	97.5	98.6	97.2	97.7	97.8	97.6	98.1	98.4	98.2
	昨年度	97.9	98.4	97.4	98.0	97.9	97.8	98.2	97.9	98.2

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
時と場に応じたことばづかいに気をつけている。	今年度	88.1	84.6	86.6	85.9	84.1	82.8	94.3	96.3	96.4
	昨年度	88.9	86.4	86.3	86.3	83.0	84.1	94.8	95.6	97.0
あいさつや返事をするのは、必要だと思う。	今年度	98.0	98.2	97.3	97.5	97.4	97.6	98.8	98.9	98.6
	昨年度	97.7	98.2	97.1	97.5	97.7	98.0	98.2	98.4	98.7
学校のきまりやマナーを守ることは大切だと思う。	今年度	98.0	98.7	97.4	97.8	97.4	97.4	97.7	97.9	98.2
	昨年度	98.3	98.7	97.0	97.6	97.8	97.7	97.9	97.2	97.8
友だちの人権や気持ちを考えて行動している。	今年度	—	—	92.4	92.9	93.4	95.0	95.6	96.9	96.7
	昨年度	—	—	92.3	92.9	93.5	95.0	96.0	95.8	97.4
誰に対しても、思いやりの心を持って接している。	今年度	94.2	90.2	89.6	88.4	89.1	88.8	90.5	93.8	92.4
	昨年度	93.5	91.2	89.5	89.3	89.3	89.8	91.9	90.1	92.9
命は、何よりも大切であると思う。	今年度	98.2	98.8	98.0	97.6	97.5	97.1	97.0	97.2	96.1
	昨年度	98.3	98.4	98.0	97.9	97.9	96.7	97.0	96.3	96.0
お年寄りに感謝の気持ちを持っている。	今年度	96.1	96.8	95.1	94.3	93.1	92.0	89.9	89.5	88.5
	昨年度	96.5	96.5	94.8	94.3	93.3	90.6	90.6	88.1	87.6
お年寄りの役に立ちたいと思う。	今年度	94.5	95.4	92.2	92.0	90.7	88.6	86.2	85.8	83.1
	昨年度	95.2	95.0	93.2	92.9	89.8	87.5	86.5	83.5	83.0
今の生活や将来に、なやみや不安がある。	今年度	—	—	51.5	48.1	41.8	44.8	52.4	53.2	61.5
	昨年度	—	—	52.9	50.3	44.5	51.3	50.3	59.6	63.9
中学校の学習や生活が楽しみである。	今年度	—	—	—	—	73.6	77.1	—	—	—
	昨年度	—	—	—	—	73.6	76.2	—	—	—
宇都宮市の「よさ」を紹介することができる。	今年度	—	—	72.8	76.6	77.7	77.8	70.4	70.7	69.7
	昨年度	—	—	74.3	78.6	79.2	78.5	71.3	68.1	71.2
他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。	今年度	—	—	83.8	83.7	75.5	82.6	82.2	85.0	86.3
	昨年度	—	—	84.8	85.2	76.4	83.0	81.5	81.9	87.7

○ 「自分のよさを人のために生かしたいと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で85%以上である。

○ 望ましい集団の在り方や自分の役割に関する「学校での役割や係の仕事に責任を持って取り組んでいる」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で90%以上である。また、「助け合ったり協力し合ったりすることは大切だと思う」、「働くことや人のために役立つことは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で96%以上である。

- 規範意識に関する「あいさつや返事をするのは、必要だと思う」、「学校のきまりやマナーを守ることは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で97%以上である。
- 「友だちの人権や気持ちを考えて行動している」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で92%以上であり、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。
- 「宇都宮市の『よさ』を紹介することができる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では72%以上、中学校では69%以上である。
- 「他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では75%以上、中学校では82%以上である。

③ 友だちのことについて

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
困っている友だちに、自分から進んで手助けをしている。	今年度	92.1	90.3	91.7	91.7	92.1	91.1	93.0	93.3	93.5
	昨年度	91.4	91.9	91.8	92.2	91.3	91.9	93.8	91.5	92.7
自分の気持ちを理解し、なやみごとなどを相談できる友だちがいる。	今年度	—	—	88.3	87.4	85.7	86.4	86.2	88.4	88.7
	昨年度	—	—	88.0	87.8	85.6	86.2	87.6	86.8	87.4
友だちから、親切にされたことがある。	今年度	92.2	94.4	93.6	94.9	95.9	97.4	98.3	98.2	98.5
	昨年度	91.2	93.8	92.7	95.4	96.5	97.8	97.9	98.1	98.7
友だちといっしょに過ごすことは楽しい。	今年度	97.6	98.5	96.9	97.0	97.7	97.8	98.2	98.5	98.1
	昨年度	97.5	97.7	96.8	96.9	97.6	97.5	98.2	98.0	98.4
人の悪口を言ったり無視したりすることはいけないと思う。	今年度	96.9	98.0	96.8	96.7	97.0	95.9	96.4	96.2	95.4
	昨年度	97.0	97.9	96.7	96.9	96.2	96.1	96.7	95.6	96.0

- 「困っている友だちに、自分から進んで手助けをしている」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で90%以上である。
- 「友だちといっしょに過ごすことは楽しい」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で96%以上である。
- 「人の悪口を言ったり無視したりすることはいけないと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で95%以上である。

④ 家の人や先生について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
なやみごとなどを相談できる大人(家の人や先生など)がいる。	今年度	93.6	94.3	93.6	93.1	92.1	90.3	87.4	87.5	87.5
	昨年度	93.4	94.2	93.1	93.4	92.4	90.3	89.1	86.2	86.2
学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。	今年度	—	—	78.8	76.9	75.8	76.1	73.0	80.2	82.5
	昨年度	—	—	79.3	78.6	76.3	77.7	73.7	79.1	82.9
家の人といっしょに過ごすことは楽しい。	今年度	97.4	97.4	96.3	96.1	94.0	93.0	90.3	89.7	88.0
	昨年度	97.1	97.6	96.8	96.6	95.6	92.5	90.6	87.8	89.1
学習や運動、文化・芸術活動などで、自分が立てた目標を達成できるように家の人に応援してくれる。	今年度	—	—	90.3	91.6	91.2	92.0	91.4	92.4	92.3
	昨年度	—	—	89.6	91.5	91.5	92.3	92.2	91.1	92.9
家的人是、自分のよいところやがんばったことを認めてくれる。	今年度	—	—	93.8	94.2	93.9	94.0	91.6	92.1	90.7
	昨年度	—	—	93.3	94.7	94.5	93.7	92.3	90.2	91.7
先生は、自分のよいところやがんばったことを認めてくれる。	今年度	—	—	94.5	93.6	92.8	93.1	92.9	93.0	92.8
	昨年度	—	—	93.5	94.1	92.9	92.5	93.8	90.2	93.1
いえの人は、あいさつやへんじをすることの大せつさをおしえてくれますか。	今年度	85.5	85.8	—	—	—	—	—	—	—
	昨年度	84.6	85.6	—	—	—	—	—	—	—
家的人是、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	今年度	—	—	91.6	92.0	93.0	93.1	93.1	93.2	91.4
	昨年度	—	—	91.9	92.1	92.9	93.1	93.3	90.9	92.5

- 「なやみごとなどを相談できる大人(家の人や先生など)がいる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では90%以上、中学校では87%以上である。
- 「家の人といっしょに過ごすことは楽しい」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では93%以上、中学校では88%以上である。
- 児童生徒を認め励ます指導に関する「学習や運動、文化・芸術活動などで、自分が立てた目標を達成できるように家の人に応援してくれる」、「家的人是、自分のよいところやがんばったことを認めてくれる」、「先生は、自分のよいところやがんばったことを認めてくれる」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で90%以上である。
- 「家的人是、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で91%以上である。

⑤ 家での過ごし方について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
本や新聞を読んでいる。	今年度	71.6	66.1	60.3	56.3	48.5	42.5	34.4	30.6	29.2
	昨年度	72.4	69.4	61.4	59.2	49.3	44.8	36.2	33.8	33.1
家の手伝いをしている。	今年度	88.5	82.5	76.9	78.5	77.6	75.2	71.5	71.8	69.3
	昨年度	89.4	84.3	77.4	79.3	77.3	75.3	70.5	68.9	68.6
朝、自分で起きることができる。	今年度	60.2	56.6	65.0	65.5	65.8	68.3	71.4	71.2	71.2
	昨年度	58.7	57.8	64.8	66.3	65.0	68.7	69.7	69.4	72.3
夜は決まった時間に寝ている。	今年度	73.3	67.4	68.7	64.7	62.2	60.2	58.7	59.3	59.7
	昨年度	73.1	69.8	69.8	66.8	62.0	64.3	58.7	59.8	59.2
地域での活動(子ども会や育成会の行事など)に参加している。	今年度	69.1	66.3	63.7	56.9	56.2	51.6	35.6	28.1	23.0
	昨年度	67.9	68.3	63.4	59.2	56.3	52.9	36.7	28.6	25.7

○ 「本や新聞を読んでいる」の設問に肯定的に回答した割合は、学年が上がるにつれて減少する傾向が見られる。また、すべての学年で昨年度よりも減少している。

○ 「朝、自分で起きることができる」の設問に肯定的に回答した割合は、小1、小3、小5、中1、中2では昨年度よりも増加している。

⑥ スマートフォンや携帯電話について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
自分のスマートフォンや携帯電話を持っていますか。	今年度	28.2	31.0	40.4	52.2	61.0	72.8	90.0	92.5	92.2
	昨年度	27.6	29.6	38.9	49.2	62.2	68.6	87.2	89.2	90.5
見てはいけないサイトにつながらなくなるように、フィルタリングをしたり、キッズケータイ [®] を使ったりしている。	今年度	71.2	67.0	64.7	69.4	73.2	73.6	77.1	73.0	65.7
	昨年度	74.1	70.6	68.5	73.2	75.0	77.2	76.2	73.6	65.0
スマートフォンや携帯電話を使うときのルールを、家の人と決めている。	今年度	75.8	79.8	77.8	81.2	82.6	81.4	82.1	78.6	70.9
	昨年度	79.2	80.2	79.4	82.5	82.7	83.9	82.7	77.5	71.5
名前や顔写真、電話番号、メールアドレスなどの個人情報を、誰でも見られるサイトやSNSに書き込まないようにしている。	今年度	83.4	88.0	86.9	91.5	94.3	95.6	96.6	96.3	95.9
	昨年度	82.6	90.4	88.3	91.8	94.4	95.4	96.3	95.7	95.8
平日、1日にスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間(平均値)	今年度	51分	1時間5分	1時間7分	1時間19分	1時間27分	1時間44分	2時間1分	2時間9分	2時間4分
	昨年度	47分	1時間5分	1時間4分	1時間14分	1時間24分	1時間39分	1時間58分	2時間7分	2時間3分
平日の夜、スマートフォンや携帯電話の使用終了時刻(平均値)	今年度	8時2分	8時11分	8時17分	8時32分	8時47分	9時12分	9時51分	10時17分	10時45分
	昨年度	8時1分	8時8分	8時14分	8時29分	8時45分	9時7分	9時52分	10時19分	10時49分

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
休日、1日にスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間（平均値）	今年度	58分	1時間16分	1時間19分	1時間33分	1時間43分	2時間	2時間32分	2時間42分	2時間36分
	昨年度	55分	1時間13分	1時間17分	1時間29分	1時間41分	1時間58分	2時間30分	2時間40分	2時間35分
休日の夜、スマートフォンや携帯電話の使用終了時刻（平均値）	今年度	8時8分	8時16分	8時24分	8時41分	8時59分	9時22分	10時3分	10時27分	10時51分
	昨年度	8時8分	8時11分	8時21分	8時38分	8時56分	9時20分	10時5分	10時30分	10時57分
家の人はあなたがスマートフォンや携帯電話をどのように使っているかチェックしていますか。	今年度	73.6	69.3	74.6	71.3	73.8	71.8	73.1	65.5	55.7
	昨年度	70.3	74.0	72.7	72.5	70.7	70.4	69.3	61.4	50.9
LINE®やInstagram®などのSNSでうまく思いが伝わらず、嫌な思いをしたり、相手に嫌な思いをさせてしまったりしたことはありますか。	今年度	79.0	86.8	83.9	87.0	86.3	80.7	81.5	83.0	81.5
	昨年度	77.1	86.3	86.4	88.6	85.7	83.1	83.6	81.9	81.3

- スマートフォンや携帯電話の所持率は、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られ、小5以降では60%を超え、中学校では90%台である。
- 「名前や顔写真、電話番号、メールアドレスなどの個人情報を、誰でも見られるサイトやSNSに書き込まないようにしている」の設問に肯定的に回答した割合は、小1～小3では80%台、小4、小5では90%台、小6以降では95%以上である。
- 平日のスマートフォンや携帯電話の利用時間の平均は、小学校では51分～1時間44分、中学校では2時間1分～2時間9分である。休日では、小学校では58分～2時間、中学校では2時間32分～2時間42分である。平日・休日とも、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られ、特に、小5～中1の間で大きな増加が見られる。
- 平日の夜にスマートフォンや携帯電話の使用を終了する時刻の平均は、小1～小5では午後8時台、小6、中1では午後9時台、中2、中3では午後10時台である。休日では、小1～小5では午後8時台、小6では午後9時台、中1以降では午後10時台である。
- 「家の人はあなたがスマートフォンや携帯電話をどのように使っているかチェックしていますか」の設問に肯定的に回答した割合は、小1、小3～中1では70%台、小2、中2では60%台、中3では50%台である。また、小2、小4を除いて、昨年度よりも増加している。
- 「LINE®やInstagram®などのSNSでうまく思いが伝わらず、嫌な思いをしたり、相手に嫌な思いをさせてしまったりしたことはありますか」の設問に肯定的に回答した割合は、小1では70%台、小2以降では80%台である。

⑦ 体力について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
運動をすることは大切だと思う。	今年度	97.6	97.8	97.3	97.4	97.8	97.6	98.0	98.4	98.0
	昨年度	97.6	98.1	97.3	97.8	97.7	97.6	98.0	97.6	98.2
休み時間や放課後、休日などに、自分から進んで運動をするようにしている。	今年度	77.6	76.1	78.4	78.4	74.4	65.5	65.0	66.5	55.9
	昨年度	77.2	76.0	78.2	78.3	70.4	65.4	65.3	61.7	53.4
健康や体力に自信があると思う。	今年度	89.3	83.7	80.7	76.1	68.7	62.2	58.9	59.1	55.0
	昨年度	88.0	82.9	80.9	75.6	66.4	62.9	59.7	56.6	54.5

- 「運動をすることは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で97%以上である。
- 「休み時間や放課後、休日などに、自分から進んで運動をするようにしている」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では60%台～70%台、中学校では50%台～60%台であり、小4以降では学年が上がるにつれて減少する傾向が見られる。
- 「健康や体力に自信があると思う」の設問に肯定的に回答した割合は、学年が上がるにつれて減少する傾向が見られ、中学校では50%台である。

⑧ 健康や食事について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
早寝、早起きを心がけている。	今年度	75.8	72.0	81.3	78.9	74.3	69.8	65.6	64.5	60.2
	昨年度	74.5	74.1	82.4	79.5	73.8	71.4	66.0	62.3	60.5
健康診断で指摘されたところは、早めに治療している。	今年度	—	—	—	—	87.4	88.3	88.4	88.8	88.3
	昨年度	—	—	—	—	86.5	88.7	88.9	87.6	89.4
歯みがきをしていますか。	今年度	95.2	96.4	97.0	97.9	98.6	98.9	98.5	98.6	98.6
	昨年度	95.0	96.7	96.9	98.2	98.7	99.2	98.6	98.4	98.7
毎日、朝食を食べていますか。	今年度	95.7	95.6	95.1	94.9	94.1	93.6	92.6	92.6	91.1
	昨年度	95.4	95.6	94.5	94.8	94.7	92.5	92.9	91.8	91.0
好ききらいをしないで食べていますか。 (きれいなものでも1口は食べている。)	今年度	87.2	87.1	83.5	86.6	86.9	85.9	85.8	86.1	86.4
	昨年度	86.6	88.4	85.0	87.0	85.4	87.3	84.6	85.8	85.4
朝食は家の人といっしょに食べている。	今年度	73.2	67.7	72.6	71.6	67.9	64.4	59.8	57.0	54.4
	昨年度	71.4	68.6	74.2	71.2	67.1	66.2	60.1	56.9	54.7
夕食は家の人といっしょに食べている。	今年度	93.0	92.6	92.8	93.3	93.2	91.6	90.7	88.0	82.8
	昨年度	93.2	92.9	92.3	93.6	92.9	91.8	89.9	87.5	83.8
食事のときには、「いただきます」「ごちそうさま」を言っている。	今年度	90.2	90.0	92.7	94.0	93.8	93.7	93.4	94.1	93.8
	昨年度	91.2	90.9	92.8	94.4	93.3	94.0	93.4	94.3	94.3
食事のマナー(おはしの使い方、姿勢など)に気をつけて食べている。	今年度	89.1	87.1	89.2	90.8	89.3	89.4	90.5	93.0	92.8
	昨年度	88.3	86.2	88.9	89.5	86.2	89.5	90.1	91.1	92.6
食事のマナー(おはしの使い方、姿勢など)を守って食べることは大切だと思う。	今年度	97.1	97.2	96.2	96.9	96.8	96.7	96.7	97.5	97.0
	昨年度	96.7	97.3	96.2	96.9	96.5	97.0	96.7	96.3	97.1
3食きちんと食べることは大切だと思う。	今年度	98.3	98.5	96.7	97.5	96.8	97.2	97.2	97.5	96.8
	昨年度	98.0	98.9	97.0	97.2	97.2	97.0	97.5	96.7	97.2
栄養バランスを考えて食べることは大切だと思う。	今年度	—	—	96.5	97.6	97.3	97.8	97.8	98.3	97.7
	昨年度	—	—	96.9	97.5	97.1	97.8	97.8	98.0	98.3
食品に表示されている原材料や消費期限などについて関心がある。	今年度	—	—	—	—	85.3	84.5	80.1	79.2	80.6
	昨年度	—	—	—	—	83.5	83.8	79.7	76.3	81.8
食品の品質や安全性を考えて、食材を選んでいる。	今年度	—	—	—	—	85.8	85.7	85.0	83.5	82.8
	昨年度	—	—	—	—	84.4	85.8	83.7	81.5	83.1
お正月に食べるおせちなどの行事食(季節の行事やお祝いの日食べる料理)や、しもつかれなどの郷土料理を知っている。	今年度	—	—	—	—	87.2	91.6	89.9	91.1	91.1
	昨年度	—	—	—	—	87.9	91.2	89.7	90.0	91.7

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
地域で生産された野菜や果物などを、選んで食べることは大切だと思う。	今年度	95.1	95.6	93.4	91.8	89.0	88.3	83.4	85.1	85.1
	昨年度	95.1	95.9	93.4	92.4	90.3	88.4	85.2	84.4	86.7
家の人は、あなたの食生活に関心があり、朝食をしっかり食べることなど、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	今年度	—	—	89.1	88.4	88.2	88.9	86.6	86.1	83.9
	昨年度	—	—	88.2	89.0	88.4	88.5	86.8	83.4	84.9
20歳未満は、飲酒してはいけないと思う。	今年度	93.9	97.0	96.5	97.5	97.7	97.3	97.9	97.7	97.3
	昨年度	94.0	96.4	96.3	97.9	97.7	97.3	98.0	97.5	98.0
健康のため、たばこはすうべきではないと思う。	今年度	94.9	97.1	96.0	97.6	98.2	96.9	98.0	97.6	97.3
	昨年度	95.5	97.1	96.8	97.6	97.6	97.1	97.9	97.5	98.0
麻薬、覚せい剤など薬物は使ってはいけないと思う。	今年度	—	—	—	—	98.7	98.5	98.9	98.8	98.5
	昨年度	—	—	—	—	98.3	98.8	99.0	98.7	99.1
性について学ぶことは大切だと思う。	今年度	—	—	86.5	84.2	92.0	87.6	90.1	92.5	95.6
	昨年度	—	—	86.3	85.5	91.7	89.2	90.3	92.0	96.2

- 「早寝、早起きを心がけている」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では60%台～80%台、中学校では60%台であり、小3以降では学年が上がるにつれて減少する傾向が見られる。
- 「歯みがきをしていますか」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で95%以上である。
- 食事のマナーに関する「食事のマナー（おはしの使い方、姿勢など）に気をつけて食べている」の設問に肯定的に回答した割合は、小1～小3、小5、小6では80%台、小4、中1以降では90%台である。また、「食事のマナー（おはしの使い方、姿勢など）を守って食べることは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で96%以上である。
- 「栄養バランスを考えて食べることは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で96%以上である。
- 「お正月に食べるおせちなどの行事食（季節の行事やお祝いの日食べる料理）や、しもつかれなどの郷土料理を知っている」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で87%以上である。
- 「地域で生産された野菜や果物などを、選んで食べることは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、小1～小4では90%台、小5以降では80%台である。

⑨ 安全について

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
交通事故にあわないよう、交通ルールを守っている。	今年度	98.5	98.4	97.8	98.3	98.2	97.9	98.7	98.9	98.4
	昨年度	98.2	98.1	97.8	98.5	98.1	98.5	98.4	98.7	98.7
不審者から自分の安全を守るための行動を心がけている。	今年度	97.8	98.1	96.8	96.9	96.6	95.3	95.7	95.7	95.2
	昨年度	98.0	98.0	96.4	96.8	96.2	96.0	95.6	94.7	95.2
自分や身の周りの人々の安全に気を配り、安全に行動している。	今年度	97.6	97.9	95.0	95.1	96.6	95.8	97.3	97.4	97.3
	昨年度	98.2	97.7	94.7	95.9	95.6	96.8	97.4	96.7	97.7

- 安全に関する「交通事故にあわないよう、交通ルールを守っている」、「不審者から自分の安全を守るための行動を心がけている」、「自分や身の周りの人々の安全に気を配り、安全に行動している」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で95%以上である。

正答率とアンケート結果の一体的分析

結果報告

4. 正答率と相関のある指導の分析

(1) 小学校第6学年結果分析

1) 学習について

■ A層～D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした児童の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層～D層	宇都宮市
問1(6)ア⑤	自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	86.5	72.9	60.4	52.8	33.7	67.6
問1(6)ウ③	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	79.2	69.5	61.2	51.4	27.8	64.9
問1(6)オ⑥	いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。	86.6	76.2	67.8	60.0	26.5	72.2
問1(6)オ②	社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	81.8	73.8	64.6	61.2	20.6	69.7
問1(6)エ⑤	テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	73.9	67.4	55.6	53.3	20.6	62.3
問1(6)ウ②	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	61.7	55.9	48.0	41.3	20.4	51.2
問1(6)ア⑥	ものごとをいろいろな視点や立場から考えている。	86.4	80.0	73.9	66.1	20.3	76.0
問1(6)ア④	グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している。	87.2	80.3	77.0	67.0	20.2	77.1
問1(6)エ②	宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	94.5	92.8	88.7	74.5	20.0	86.8
問1(6)ウ④	本を利用して、学習に関する情報を得ている。	64.7	55.1	48.2	44.7	19.9	53.5

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 小6において、問1(6)(学習についての設問のうち、教科についての意識及び時間についての設問を除く)の34問の中で、A層～D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(6)ア(授業への取組についての設問)、(6)ウ(学習の仕方についての設問)が3問ずつなどであった。
- A層～D層の差が特に大きかった設問(上位3問)
 - ・ 「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。」(+33.7ポイント)
 - ・ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。」(+27.8ポイント)
 - ・ 「いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。」(+26.5ポイント)
- 正答率上位層の児童は、根拠に基づく話し方が身に付いており、学びを振り返り次の学習につなげたり、楽しんで読書をしたりするなど、主体的に学習に取り組んでいる傾向などが見られる。

2) 生活について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした児童の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問2(10)エ①	本や新聞を読んでいる。	60.4	45.3	34.3	31.0	29.4	42.5
問2(10)エ④	夜は決まった時間にねている。	67.7	62.6	59.3	51.7	16.0	60.2
問3(1)	自分のスマートフォンやけいたい電話を持っていますか。	65.2	71.4	75.8	78.6	-13.4	72.8
問2(10)エ⑤	地いきでの活動(子ども会や育成会の行事など)に参加している。	56.4	53.7	51.4	45.4	11.0	51.6
問2(10)ア⑱	他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。	87.1	85.4	82.5	76.5	10.6	82.6
問2(5)	学校のきまりやマナーを守っていますか。	95.2	94.1	92.9	85.4	9.8	91.5
問2(10)ア⑧	ことばづかいに気をつけている。	87.3	84.0	83.2	77.7	9.6	82.8
問2(10)ア④	自分やみんなのためになることは、がんばってやろうとしている。	93.2	91.8	88.3	84.7	8.5	89.0
問2(10)ウ②	学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。	82.3	77.0	71.6	73.9	8.4	76.1
問2(10)ア⑰	中学校の学習や生活が楽しみである。	81.4	76.8	77.3	73.2	8.2	77.1

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 小6において、問2（毎日の生活についての設問のうち、時間についての設問を除く）・問3（1）（スマートフォン等の所持についての設問）の43問の中で、A層－D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(10)ア（自分自身のことについての設問）が4問、(10)エ（家での過ごし方についての設問）が3問などであった。
- A層－D層の差が特に大きかった設問（上位3問）
 - ・ 「本や新聞を読んでいる。」（+29.4ポイント）
 - ・ 「夜は決まった時間にねている。」（+16.0ポイント）
 - ・ 「自分のスマートフォンやけいたい電話を持っていますか。」（-13.4ポイント）
- 正答率上位層の児童は、本や新聞を読んだり、決まった時刻に就寝したりする習慣が身に付いていることが分かる。

3) 学習や生活の時間について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位5問）

設問番号	設問内容	平均値(時間 分)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問3(3)①	平日の、1日にスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間（平均値）	1時間6分	1時間37分	1時間54分	2時間9分	-1時間3分	1時間44分
問1(5)②	休日の、1日の学習時間（塾や家庭教師も含む）（平均値）	1時間34分	56分	43分	34分	1時間	55分
問3(4)①	休日の、1日にスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間（平均値）	1時間23分	1時間58分	2時間9分	2時間21分	-58分	2時間
問3(4)②	休日の夜の、スマートフォンや携帯電話の使用終了時刻（平均値）	8時50分	9時16分	9時30分	9時44分	-54分	9時22分
問3(3)②	平日の夜の、スマートフォンや携帯電話の使用終了時刻（平均値）	8時47分	9時5分	9時17分	9時31分	-44分	9時12分

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 小6において、学習や生活の時間についての設問の12問のうち、A層－D層の差が大きかった上位5問の内訳を見ると、1日のスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間（平日：－1時間3分，休日：－58分），1日の学習時間（休日：＋1時間），夜のスマートフォンや携帯電話の使用終了時刻（平日：－44分，休日：－54分）であった。
- 休日の学習時間はA層で長く，平日・休日のスマートフォンや携帯電話の利用時間はD層で長い傾向が見られる。また，平日・休日の夜にスマートフォンや携帯電話の使用を終了する時刻はD層で遅い傾向が見られる。

(2) 中学校第3学年結果分析

1) 学習について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問1(6)ウ③	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	89.4	76.8	65.8	47.0	42.4	68.5
問1(6)エ⑤	テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	87.5	80.8	69.9	52.5	34.9	71.3
問1(6)ウ②	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	79.6	73.4	62.1	45.5	34.1	63.9
問1(6)ア⑤	自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	91.9	83.3	78.0	65.3	26.7	78.4
問1(6)エ②	宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	94.5	91.6	85.6	68.8	25.7	83.5
問1(6)イ①	学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	90.3	83.4	78.0	66.2	24.2	78.4
問1(6)オ⑥	いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。	79.6	74.1	69.6	56.8	22.9	69.8
問1(6)エ④	自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。	74.8	67.2	63.7	53.3	21.5	63.9
問1(6)オ①	社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めることがある。	74.1	69.4	65.4	56.5	17.6	66.0
問1(6)オ②	社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	75.7	69.3	66.9	58.5	17.2	67.3

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

○ 中3において、問1(6)(学習についての設問のうち、教科についての意識及び時間についての設問を除く)の34問の中で、A層－D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(6)エ(家庭での学習についての設問)、(6)オ(世の中のことへの興味・関心についての設問)が3問ずつなどであった。

○ A層－D層の差が特に大きかった設問（上位3問）

- ・ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。」(+42.4ポイント)
- ・ 「テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。」(+34.9ポイント)
- ・ 「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。」(+34.1ポイント)

○ 正答率上位層の生徒は、学びを振り返り次の学習につなげたり、テストで間違えた問題をやり直したり、新しく習ったことを繰り返し練習したりするなど、主体的に学習に取り組んでいる傾向などが見られる。

2) 生活について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問2(10)エ①	本や新聞を読んでいる。	38.9	29.2	27.1	21.0	17.9	29.2
問2(10)エ④	夜は決まった時間に寝ている。	66.3	60.9	59.0	55.4	10.9	59.7
問2(10)ア⑩	他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。	91.1	89.2	86.3	80.3	10.9	86.3
問2(10)ウ②	学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。	86.9	84.8	82.3	77.2	9.7	82.5
問2(10)エ②	家の手伝いをしている。	65.4	67.8	69.0	74.0	-8.6	69.3
問2(10)ウ⑦	家の人は、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	95.3	93.2	89.8	88.1	7.2	91.4
問2(10)ア③	自分で決めたことは最後まで努力している。	90.4	85.9	85.0	83.6	6.8	85.3
問2(10)ア②	自分のよさを人のために生かしたいと思う。	91.9	90.7	88.6	85.9	6.1	88.7
問2(10)ウ③	家の人といっしょに過ごすことは楽しい。	90.2	90.2	88.2	85.2	5.0	88.0
問2(10)ウ④	学習や運動、文化・芸術活動などで、自分が立てた目標を達成できるように家の人が応援してくれる。	94.2	94.1	92.9	89.3	4.9	92.3

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 中3において、問2（毎日の生活についての設問のうち、時間についての設問を除く）・問3（1）（スマートフォン等の所持についての設問）の42問の中で、A層－D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(10)ウ（家の人や先生についての設問）が4問、(10)ア（自分自身のことについての設問）、(10)エ（家での過ごし方についての設問）が3問ずつなどであった。
- A層－D層の差が特に大きかった設問（上位3問）
 - ・ 「本や新聞を読んでいる。」（+17.9ポイント）
 - ・ 「夜は決まった時間に寝ている。」（+10.9ポイント）
 - ・ 「他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。」（+10.9ポイント）
- 正答率上位層の生徒は、本や新聞を読んだり、決まった時刻に就寝したりする習慣や、他国の人々や文化に親しみ、関心をもち、他国を尊重しようとする態度が身に付いている。

3) 学習や生活の時間について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位5問）

設問番号	設問内容	平均値(時間 分)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問1(5)②	休日の、1日の学習時間 (塾や家庭教師も含む) (平均値)	3時間8分	2時間59分	2時間47分	2時間6分	1時間2分	2時間41分
問3(3)①	平日の、1日にスマートフォンや携帯電話 で電話やゲームをしたり、動画やインター ネットのサイトを見たり、SNSを利用した りする時間 (平均値)	1時間39分	1時間55分	2時間12分	2時間25分	-46分	2時間4分
問1(5)①	平日の、1日の学習時間 (塾や家庭教師も含む) (平均値)	2時間38分	2時間31分	2時間22分	1時間58分	40分	2時間19分
問3(4)①	休日の、1日にスマートフォンや携帯電話 で電話やゲームをしたり、動画やインター ネットのサイトを見たり、SNSを利用した りする時間 (平均値)	2時間16分	2時間31分	2時間42分	2時間49分	-33分	2時間36分
問2(8)①	平日の、1日に「テレビ」、「タブレットやパ ソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりす る時間 (平均値)	1時間20分	1時間27分	1時間38分	1時間48分	-28分	1時間34分

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、
上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 中3において、学習や生活の時間についての設問の12問のうち、A層－D層の差が大きかった上位5問の内訳を見ると、1日の学習時間（平日：+40分、休日：+1時間2分）、1日のスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間（平日：-46分、休日：-33分）、1日の「テレビ」、「タブレットやパソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりする時間（平日：-28分）であった。
- 平日・休日の学習時間はA層で長く、平日・休日のスマートフォンや携帯電話の利用時間、平日のテレビ、動画視聴、ゲーム時間はD層で長い傾向が見られる。

(3) 考察及び指導の工夫・改善策

小学校

○ 正答率が高い児童の方が、以下の点について肯定的に回答している傾向が見られる。

授業での学習等

- ・ 自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。
- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- ・ 新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。

⇒ 言語活動の質的向上を図るとともに、基本的な学習内容の確実な定着を図る。

- ・ 説明の場面では、「つまり」、「例えば」などの思考に関わる言葉を使うなど、根拠を挙げながら話すことのよさを実感できるよう指導する。
- ・ 主体的に学習に取り組むことができるよう、実社会や実生活に関連した教材や課題を設定し、授業のねらいを明確にした上で、発問や学習活動の工夫により、課題にじっくり取り組ませたり、学習した内容について振り返りを丁寧に行ったりし、友達と関わりながら学習を進めるような授業を多く展開する。
- ・ 单元ごとにデジタルドリル等を活用した問題に取り組んだ上で、学期末や学年末のまとめの学習を充実させるなど、基本的な学習内容の定着を図る。

家庭での学習・生活等

- ・ テストでまちがえた問題は、もう一度やり直したり、宿題をきちんとやり、期限までに提出したりしている。
- ・ 夜は決まった時間に寝ている。
- ・ 学習時間が長く、スマートフォンや携帯電話、ゲームに費やす時間が短い。

⇒ 家庭学習の充実や基本的な生活習慣の定着を図る。

- ・ 学校全体の共通理解のもとに、学習計画の立て方、宿題の内容や提出方法、評価・点検方法等を工夫する。
- ・ 家庭での過ごし方を振り返り計画を立てるなど、自分の生活習慣を見直す活動等を行う。
- ・ 「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言 Ver.2」に基づく取組を推進する。

家の人との関わり等

- ・ 学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。

⇒ 家庭と連携・協働して認め励ます教育を推進する。

- ・ 学校の方針や取組、児童の成長などについて家庭に向けた情報発信を積極的に行うとともに、家庭と連携・協働しながら児童のよさを認め励まし、自己肯定感を育てる。

地域や社会への関心等

- ・ 本や新聞を読んでいる。
- ・ 社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。
- ・ 他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。

⇒ 新聞や社会の問題を教材とした学習活動を工夫するとともに、郷土への愛情と誇りをはぐくむ学習や、さまざまな地域の文化を理解する学習などの充実を図る。

- ・ 本やニュース記事等から得た情報、感想などを紹介し合う活動を取り入れる。
- ・ 各教科や総合的な学習の時間等において、社会や身の回りの出来事の中から課題を見だし、調べたり考えたりする学習を行う。また、地域の教育資源、「道徳科地域教材」等を活用し、伝統を継承する人の生き方に触れる学習や、「宇都宮学」等の学習を通して、郷土の歴史、文化、伝統、産業、風土等についてよさや特長への理解を深める指導を行う。

中学校

○ 正答率が高い生徒の方が、以下の点について肯定的に回答している傾向が見られる。

授業での学習等

- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- ・ 新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。
- ・ 自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。

⇒ 基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに、言語活動の充実を図る。

- ・ 主体的に学習に取り組むことができるよう、実社会や実生活に関連した教材や課題を設定し、学習への見通しをもたせた上で、発問や学習活動の工夫により、課題にじっくり取り組ませたり、自分で立てた見通しに対する振り返りを行い、学んだことを次の学習や生活に生かそうとする態度を養ったりする。
- ・ 単元や学期ごとに復習する機会や、学年末のまとめの学習期間を設けるなどして、当該学年で身に付けるべき基礎・基本の確実な定着を図る。
- ・ 自分の考えを記述し説明する活動を取り入れ、根拠の適切さや論理の展開などに注意しながら友達と交流し、内容について建設的に話し合うことができるよう指導する。

家庭での学習・生活等

- ・ 自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。
- ・ テストでまちがえた問題は、もう一度やり直したり、宿題をきちんとやり、期限までに提出したりしている。
- ・ 学習時間が長く、スマートフォンや携帯電話、テレビや動画などの視聴に費やす時間が短い。

⇒ 家庭学習の習慣化を図るとともに、家庭学習と授業を関連付ける。

- ・ 発達の段階に応じた宿題や自主学習について検討し、全教職員の共通理解のもと推進する。特に、提出された宿題を適切に評価し、授業で活用したり、事後指導したりする。
- ・ 家庭学習の重点期間を設けたり、「宮っ子ダイアリー」の毎日の記録のページを活用したりして、家庭学習の時間を確保するとともにその内容等を点検し改善する。
- ・ 「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言 Ver.2」に基づく取組を推進する。

家の人との関わり等

- ・ 学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。
- ・ 家の方は、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。

⇒ 家庭と連携・協働して認め励ます教育を推進する。

- ・ 学校の方針や取組、生徒の成長などについて家庭に向けた情報発信を積極的に行うとともに、家庭と連携・協働しながら生徒のよさを認め励まし、自己肯定感を育てる。

地域や社会への関心等

- ・ 本や新聞を読んでいる。
- ・ 社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めたり、社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたりすることがある。
- ・ 他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。

⇒ 地域や社会に対する関心を高める指導を工夫する。

- ・ 新聞やニュースを教材として活用し、時事問題を扱い意見を伝え合う活動を取り入れる。
- ・ 各教科や総合的な学習の時間における「宇都宮学」等において、社会や身近な地域の問題等に目を向け、それらの事象を調べたり、解決するための方法を考えたりする学習を行う。
- ・ 他国の文化や生活習慣等をテーマとし、共通点や違いを理解する活動を取り入れる。

5. 国，県，市の学力調査における本市児童生徒の学力の状況

〔対象調査〕全国学力・学習状況調査（小6・中3の4月），とちぎっ子学習状況調査（小4・小5・中2の4月），宇都宮市学習内容定着度調査（小6・中3の12月）

小学校

1 全体的な状況

- 多くの学年・教科において，平均正答率が全国・県平均・参考値（※）を上回っており，おおむね良好であるが，国語など一部の学年でやや下回る状況が見られる。
- 基礎（知識・技能）・活用（思考・判断・表現）別では，主に小4・小5国語の活用が県平均を下回っている。

※ 参考値は，宇都宮市学習内容定着度調査について，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率

2 各教科の状況（詳細は個別の報告書等を参照）

○：良好な状況 ●：課題

国 語

- 文章の内容を的確に読み取ること
⇒ 叙述をもとに文章の内容や人物の心情をとらえる問題〔全国 +1.8P，県小5 +1.9P，市 +2.6P〕
- 話の中心をとらえること（話すこと・聞くこと）
⇒ 話題をとらえる問題〔県小4 -1.5P〕，話の中心を明確にする意見の述べ方を選ぶ問題〔県小5 -1.6P〕
- 自分の考えを形成して書くこと
⇒ 2段落構成の意見文について，立場を明確にし，考えをまとめ書く問題〔県小5 -6.3P，市 -2.3P〕

社 会

- 日本の自然災害についての理解
⇒ 日本地図に示された災害発生の位置から災害の種類を考え，組み合わせる問題〔市 +14.3P〕
- 日本の工業生産の特色について，グラフから必要な情報を読み取り，表現すること
⇒ 日本の貿易の変化について，グラフを読み取り表現する問題〔市 +15.6P〕
- その時代の特色について，複数の情報から正しい内容を選択すること
⇒ 安土桃山時代の出来事について，織田信長の業績を問う問題〔市 -7.8P〕

算 数

- 図形の意味や性質についての理解
⇒ 図形の性質に基づいて台形を選ぶ問題〔全国 +8.7P〕，点対称な図形を選ぶ問題〔市 +1.7P〕
- データの分類整理や，測定値の平均についての理解
⇒ 二次元表から，条件に合った項目を選ぶ問題〔全国 +4.1P〕，二次元表に表す問題〔県小5 +2.0P〕，値に0がある分離量の平均を求める問題〔市 +6.1P〕
- 数の概念について理解し，計算の意味と方法について考察すること
⇒ 真分数÷整数の計算〔市 -11.2P〕，小数の仕組みをもとに大きさを比べる問題〔県小5 -4.3P〕

理 科

- 基礎的な知識の定着
⇒ 乾電池のつなぎ方についての理解を問う問題〔全国 +3.3P〕，サクラの夏の様子についての理解を問う問題〔県小5 +1.9P〕，食物連鎖についての理解を問う問題〔市 +8.4P〕
- 実験方法や条件から結果を推測すること
⇒ ふりこの周期について図や表から理解し，実験の結果を推測する問題〔市 +5.5P〕
- 実験結果から考察すること
⇒ 実験結果から，葉からでんぷんがなくなるのはいつかを考察する問題〔市 -7.0P〕

※ 表中の〔± P〕は，全国学力・学習状況調査については全国平均，とちぎっ子学習状況調査については県平均，宇都宮市学習内容定着度調査については参考値との差。

中学校

1 全体的な状況

- すべての学年・教科の平均正答率が、全国・県平均または参考値（※）を上回っており、良好な状況である。
- 基礎（知識・技能）・活用（思考・判断・表現）別では、ほとんどの学年・教科において、県平均または参考値を上回っている。

※ 参考値は、宇都宮市学習内容定着度調査について、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率

2 各教科の状況（詳細は個別の報告書等を参照）

○：良好な状況 ●：課題

国 語

- 言葉についての理解
⇒ 語の適切な意味を選択する問題〔全国 +4.8P〕, 故事成語の正しい使い方を選ぶ問題〔市 +6.1P〕
- 分かりやすい文章になるよう構成や図表の使用を検討すること
⇒ 文章の構成を変えた意図を選ぶ問題〔全国 +2.0P〕, 図表を入れる意図を選ぶ問題〔市 +9.0P〕
- 読み取ったことをもとに自分の考えを形成して書くこと
⇒ 資料から読み取ったことを書く問題〔県 -5.7P〕, 自分の考えを明確にして書く問題〔県 -4.7P〕

社 会

- 基礎的・基本的な知識を活用して地域の特色をとらえること
⇒ 地理的な位置や自然環境に関する知識をもとに、その地域の特色を選択する問題〔県 +4.3P, 市 +15.9P〕
- 資料やグラフから正しく情報を読み取ること
⇒ 歴史上の出来事や政策について、資料やグラフを適切に読み取る問題〔県 +1.9P, 市 +13.1P〕
- 複数の資料や情報を比較したり関連付けしたりしながら考察すること
⇒ 複数の統計資料をもとに、比較や関連付けを行って考察し、正しい選択肢を選ぶ問題〔市 -1.6P〕

数 学

- 問題場面について、文字を用いて説明すること
⇒ 連続する数の和がある数の倍数になることを説明する問題〔全国 +3.1P, 市 +28.0P〕
- データの分布の傾向を読み取り、比較して説明すること
⇒ 度数分布表から相対度数や累積度数を求める問題〔全国 +8.7P, 県 +2.7P〕, 箱ひげ図から理由を説明する問題〔市 +16.2P〕
- 式の展開及び乗法公式を理解し活用すること
⇒ 乗法公式を使って式を簡単にすること〔市 -17.7P〕

理 科

- 事物・現象の規則性や関係性と日常生活を関連付けること
⇒ ガス警報器の設置場所が異なる理由を気体の密度の大小関係と関連付ける問題〔全国 +6.8P〕, カーブミラーに凸面鏡を利用している理由を説明する問題〔市 +21.3P〕
- 生物の特徴と分類の仕方についての理解
⇒ 生物の分類の観点を見いだす問題〔県 +3.3P, 市 +16.2P〕
- 水溶液とイオンについての理解
⇒ 酸性の水溶液にアルカリ性の水溶液を加えたときの水溶液の性質に関する問題〔市 -7.3P〕

英 語

- 対話の内容を聞き取り、その意味を理解して適切に答えること
⇒ 対話の内容を聞き取り、適切に応答する問題〔県 +1.3P, 市 +9.0P〕
- 短い英文や資料の英文を読み、要点や必要な情報を把握すること
⇒ 日常的話題の文章や資料から、要点や必要な情報を読み取る問題〔県 +3.0P, 市 +7.4P〕
- 文法事項や語順などを理解し、正確に書くこと
⇒ 語順を理解し、正確に書く問題〔市 -10.7P〕

※ 表中の〔± P〕は、全国学力・学習状況調査については全国平均、とちぎっ子学習状況調査については県平均、宇都宮市学習内容定着度調査については参考値との差。

